



# 超 *Super Local!*

CHANCE×CHALLENGE→CHANGE

今を超えろ! 咲き誇れ! We are the YEG!

日本商工会議所青年部 第35回全国大会

## 吉備の国 おかやま大会 報告書

平成28年 2/18(木)～2/20(土)

[www.okayama-yeg.com](http://www.okayama-yeg.com)

## 目次

|                     |        |
|---------------------|--------|
| 大会概要                | 2      |
| ご挨拶                 |        |
| 日本商工会議所 会頭          | 三村 明夫  |
| 日本商工会議所青年部 会長       | 伴 靖    |
| 岡山県商工会議所連合会 会長      |        |
| 岡山商工会議所 会頭          | 岡崎 彬   |
| ご来賓名簿               | 6      |
| 御礼                  |        |
| 岡山県商工会議所青年部連合会 会長   | 小松原 博幸 |
| 日本商工会議所青年部 第35回全国大会 |        |
| 吉備の国おかやま大会 大会会長     | 吉田 大助  |
| 日本商工会議所青年部 第35回全国大会 |        |
| 吉備の国おかやま大会 大会実行委員長  | 和氣 伸吉  |
| 大会プログラム             | 10     |
| 吉備の国おかやま大会組織図       | 19     |
| 部会報告                |        |
| 大会総務部会              | 20     |
| 式典部会                | 22     |
| 大会財政部会              | 24     |
| コンファレンス部会           | 25     |
| ビジネス部会              | 26     |
| 大懇親会部会              | 28     |
| 前泊者懇親会部会            | 30     |
| ナビゲーション部会           | 32     |
| おもてなし部会             | 34     |
| 交流部会                | 36     |
| 物産展部会               | 38     |
| エクスカーショ部会           | 40     |
| 広報渉外部会              | 42     |
| 大会事業部会(記念事業)        | 44     |
| 大会事業部会(第1分科会)       | 45     |
| 第2分科会部会(津山)         | 46     |
| 第3分科会部会(玉島)         | 48     |
| 第4分科会部会(備前)         | 50     |
| 第5分科会部会(児島)         | 52     |
| 第6分科会部会(倉敷)         | 54     |
| 第7分科会部会(井原)         | 56     |
| 第8分科会部会(総社)         | 58     |
| 第9分科会部会(新見)         | 60     |
| 第10分科会部会(高梁)        | 62     |
| 登録者数一覧              | 64     |
| 大会PRグッズ             | 66     |

## 大会概要

### 目 的

本大会は、商工会議所活動の一翼を担う全国各地の青年経済人が、交流と研鑽を通じて次代への先導者としての意識高揚を図る。併せて、新しい地域文化の創造と豊かで住みよい地域づくりに向けた役割と責任について認識を深める。以って、地域経済社会の将来にわたる健全な成長・発展に寄与する。

### 日本YEG スローガン

#### YEG EMBLEM

繋がりを我が力に変えて! 更なる「連帯の証」を求めよう!

### 大会 コンセプト

#### 「SUPER LOCAL!

～ CHANCE × CHALLENGE ⇒ CHANGE ～」

### 大会 キャッチフレーズ

「今を超えろ! 咲き誇れ! We are the YEG」

### 主 催

日本商工会議所青年部

### 主 管

岡山県商工会議所青年部連合会

### 開催地 青年部

岡山商工会議所青年部

### 後 援

経済産業省・岡山県・岡山市・倉敷市・津山市・玉野市・笠岡市・井原市・総社市・高梁市・新見市・備前市・公益社団法人おかやま観光コンベンション協会・岡山県商工会議所連合会・岡山商工会議所・倉敷商工会議所・津山商工会議所・玉島商工会議所・玉野商工会議所・児島商工会議所・笠岡商工会議所・井原商工会議所・備前商工会議所・高梁商工会議所・総社商工会議所・新見商工会議所・公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会・岡山県商工会青年部連合会・岡山県中小企業団体青年中央会



## ご挨拶



日本商工会議所  
会 頭

三村 明夫

三村でございます。「日本商工会議所青年部第35回全国大会吉備の国おかやま大会」の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙の中、北村経済産業大臣政務官、伊原岡山県知事、大森岡山市長、衆参国會議員の先生方をはじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、わが国経済は、大手企業の好業績を背景に雇用・所得環境の改善が続くものの、個人消費は力強さに欠き、中国経済の減速などもあって足踏み状況にあります。中小企業の業況は、観光需要や自動車輸出の好影響がみられるものの、人手不足、人件費の上昇、価格転嫁の遅れなどにより、横ばい・圏内での動きとなっています。

今後の日本経済を左右するのは、経営者がデフレマインドから脱却し、設備投資などを実行していくかが鍵であります。法人実効税率20%台への引き下げや、TPP大筋合意など、成長のエンジンを強化する構造改革が動きだしており、投資増のための環境は整っていると言えます。また、地方自治体における地方総合戦略の策定など、地方創生に向けた動きが加速してまいります。すでに、中小企業の設備投資に前向きな動きが見られるなど、明るい兆候は現われていますので、民間設備投資の復活を大いに期待したいと思えます。

こうした中、商工会議所として重点的に取り組むべき課題を、3点申し上げます。

1つ目は、「中小企業の経営支援」です。総じて、中小企業の収益は伸び悩み、賃上げについても人手不足を背景とした防衛的なものとなっています。さらに、輸出比率が2%台の中小企業は円安のメリットを享受できず、むしろ原材料コスト増に苦しんでいます。

商工会議所としては、価格転嫁などの構造的課題に加え、消費税の軽減税率といった新たな課題などについて、政府に粘り強く支援を要請するとともに、中小企業・小規模事業者に対する経営支援を強化してまいります。と同時に、中小企業自身も、例えば、TPPを活用して輸出増を図るなど、自らの競争力強化に全力を挙げることが重要です。

2つ目は、「地方創生の推進」です。地方創生の切り札として期待される観光は、インバウンドが昨年1,900万人以上と急増しましたが、観光客が一部の主要都市に集中している現状をどう変えるの

か、といった課題を抱えています。

日本商工会議所は、昨年とりまとめた提言の中で、地方空港などを活用して、新たな地域観光の核となる「交流拠点都市」を全国に構築し、周辺地域とのネットワークを形成することで、全国各地への旅行者の分散・拡大を図る構想を提唱し、その趣旨は政府の観光戦略に取り入れられました。次は、実行段階です。今後、行政の枠を超えた「広域観光連携」を強力に推進する必要があります。各地商工会議所には、一層の連携強化をお願いいたします。

もうひとつの切り札である農林水産業については、約200の農協と約100の漁業・林業団体が商工会議所に会員として加入し、新商品開発や商談会の開催などの連携が進められています。農林水産業は地域の中核産業としてのポテンシャルがありますので、規制緩和が進む中、商工会議所は、関係者との連携をより一層、推進していただきたいと思います。

最後に、「人手不足と人口減少・少子化対策」です。足元の人手不足に対しては、女性や高齢者など多様な人材の労働市場への参画を促すとともに、ICTやロボット活用などを強力に進める必要があります。さらに、根本的に解消するためには、わが国の人口減少トレンドを変えなければなりません。高齢者に偏った社会保障給付を見直し、恒久財源を少子化対策に大きく振り向けることが不可欠です。

商工会議所としては、婚活事業など地道な活動を粘り強く継続するとともに、女性や高齢者の能力を発揮できる柔軟で働きやすい労働環境の実現、仕事と育児・介護の両立支援の充実を、さらに提言してまいります。また、各世代が就業者として力を発揮するには、健康であることが大前提です。企業が、従業員の健康管理をコストとして捉えるのではなく、生産性の向上や社員の幸福に大きく寄与する経営戦略として捉える「健康経営」の普及を促進してまいります。

このように、商工会議所の果たすべき役割は極めて大きく、そのリーダーシップに期待が集まる中で、次代を担う青年部の皆様への期待と役割は、ますます大きくなっています。

今年度、日本商工会議所青年部は、伴会長が全国45道府県の青年部連合会を訪問し、青年部の連携強化に取り組まれるとともに、青年部メンバー企業の新たな事業展開を後押しするため、海外企業とのビジネス交流会や、ビジネスプランコンテストの開催などに取組まれており、その精力的な活動には、大変、心強く感じています。

日本の新たな再出発に向けて、「実行あるのみ」です。日本商工会議所は、全国の514商工会議所ならびに青年部の皆様との連携をさらに強固なものとし、地方創生と中小企業の活力強化に積極果敢に取り組んでまいります。今後とも、青年部の皆様のより一層のご活躍・ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本大会を主管していただきました、岡山県商工会議所青年部連合会をはじめ、岡山商工会議所青年部の皆様、ならびに関係各位に心からお礼を申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。



## 大会概要



日本商工会議所青年部  
会 長

伴 靖

「今を超えろ! 咲き誇れ! We are the YEG」の大会キャッチフレーズのもと開催されました、日本商工会議所青年部第35回全国大会「吉備の国おかやま大会」に全国から同じ志を持つ5,974名ものYEGメンバーのご登録をいただきましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

また、本大会を主管されました岡山県商工会議所青年部連合会の皆様またお力添えいただきました関係各位に心より敬意を表します。ありがとうございました。

平成27年度、日本YEGは

「YEG EMBLEM」

繋がりを我が力に変えて!

更なる「連帯の証」を求めよう!

このスローガンのもと、全国410単会、45道府県連、9ブロック、30,000名を超えるメンバーと共に活動して参りました。

何故私たちはこの活動(YEG)をするのでしょうか?企業人である私たちが何故、地域のことを考えなくてはならないのでしょうか?この問いこそが、YEGの原点であり、本質であると私は考えています。

私は想います。よい地域・社会で真っ当な商いがしたい。そしてそこで得たもので自分の愛する家族と伴に生きて行きたい。そして次代に繋いでいきたい。

商工会議所を創設した渋沢栄一は「企業は社会のためにある」と述べています。地域社会で商いをし、利益を得て生存する企業は、地域社会に貢献する義務があり、あえて言えば地域社会の発展なくして企業の発展もない

ということです。

商工会議所青年部綱領は云います。「地域社会の健全な発展」、「次代の先導者としての責任と自覚」、「地域経済発展の支え」、「文化的創造をもった豊かで住みよい郷土づくり」。これこそが私たちYEGの根幹であり、目指すべきところでもあります。この想いをしっかりと胸に刻み、自企業・地域企業の繁栄をもって地域の繁栄を支え、地域の繁栄が自企業・地域企業の繁栄を導くと考え、青年経済人としての資質の向上と更なるネットワーク(人の繋がり)を構築し、愛する人々のため、愛する地域のため、愛する家族のため、更なる連帯の証、YEG EMBLEMを創りあげて行きたいと思います。

私たちの先人は関東大震災、世界恐慌、第二次世界大戦と、壊滅的と言える時代を乗り越えて来ました。その人々のDNAや想いを繋ぐ私たちには、「東日本大震災の復興」や「人口急減」そして「熊本地震の対策・復興」など様々な問題を抱えるこの時代を乗り切る力があると私は信じています。

結びに、「吉備の国おかやま大会」の開催にあたり、PRキャラバンを皮切りに様々な準備を重ねてこられました岡山商工会議所青年部をはじめ、岡山県商工会議所青年部連合会の皆様に心から敬意を表し、その礎を築き今日までお支えいただきましたOB・OGの皆様、お力添えいただきました関係各位に感謝とお礼を申し上げ、重ねて皆様の企業・地域の益々の発展と皆様の愛するご家族のよりよき、素晴らしい未来をご祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶



岡山県商工会議所連合会  
会 長  
岡山商工会議所  
会 頭

岡 崎 彬

日本商工会議所青年部第35回全国大会「吉備の国  
おかやま大会」の開催を心より祝い申し上げます。

本日の大会が、北村政務官、伊原木県知事、大森市  
長をはじめとする多くのご来賓、並びに、全国各地から  
多くの青年経済人の皆様を、ここ岡山の地にお迎えして  
盛大に開催されるにあたり、岡山県12商工会議所を代  
表いたしまして、一言、歓迎のご挨拶を申し上げます。

青年部の皆様方におかれましては、平素から地域経  
済界の若手リーダーとして各自の企業経営でご活躍さ  
れるとともに、青年部活動を通じて会員相互の研鑽はも  
とより、商工会議所活動の一翼を担い、地域商工業の  
振興・発展にご尽力いただいておりますことに対し、深く  
敬意を表する次第であります。

ここ岡山は、古くから吉備の国として栄え、その優れ  
た文化は長い歴史の波に洗われ磨かれながら先人達の  
努力と英知によって脈々と受けつがれて今日に至って  
おります。地理的にも気候風土の面でも各地がそれぞ  
れの特徴を持ち変化に富み、緑美しい中国山地、なだ  
らかな起伏の吉備高原、肥沃な南部平野、その間を流  
れる水量豊かな三つの河川は波静かな瀬戸内海にそそ  
ぎ、温暖な気候から「晴れの国」と呼ばれております。

また、関西から九州へ至る山陽道の中心に位置す  
る岡山は、南は四国への玄関口として、北は山陰へと通  
じ、中四国の交通の要衝としてアクセスに優れた地域  
となっております。

さて、わが国経済は、アベノミクスにより長く続いて  
きたデフレから脱却しつつあり、また消費税増税の影響も  
和らぎ、緩やかな回復傾向にあると言われております。  
しかしながら、地方においては、少子高齢化、人手不足、  
円安による原材料費の高騰に加え、中国など新興国の  
経済の変調などに対し、先行きに対する不安も大きい  
状況にあります。商工会議所といたしましても「地方創  
生」の原動力となるべく、行政や各関係機関と連携を  
図りながら役割を果たし、中小・小規模企業においても、  
真の景気回復を実感できるように全力を傾注してまいり  
たいと存じます。

こうした中、各地域を支える商工会議所青年部の皆  
様が一堂に会され、交流と研鑽を通じて次代への先導  
者としての意識高揚を図り、将来の地域経済社会の発  
展について論議されますことは、誠に意義深く、その成  
果に大いに期待を寄せるところであります。

このたびの大会は、「SUPER LOCAL! ~ CHANCE  
× CHALLENGE ⇒ CHANGE ~」をコンセプトとして  
おります。地域活性化の鍵となるのは、青年経済人であ  
る青年部の皆様であり、皆様が持つ発想力と行動力が、  
地方創生に向けた大きな推進力となることを切に願っ  
ております。

また、各地域にて開催される分科会では、各地域の文  
化・産業に触れて、岡山の魅力をあますことなくご堪能  
いただき、そして「岡山の地を再び訪れたい」と感じて  
いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、ご支援、ご協力を賜  
りました日本商工会議所ならびに日本商工会議所青年  
部、主管されました岡山県商工会議所青年部連合会、  
そして関係各位の皆様にご心から を申し上げますと  
ともに、全国各地青年部の益々のご発展、ご活躍を祈念  
いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

## ご来賓名簿

|                 |       |                                   |       |                          |       |
|-----------------|-------|-----------------------------------|-------|--------------------------|-------|
| 経済産業大臣          | 林 幹雄  | 一般社団法人 岡山経済同友会<br>代表幹事            | 萩原 邦章 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第2代会長  | 津国 昭夫 |
| 一億総活躍担当大臣       | 加藤 勝信 | 一般社団法人 岡山経済同友会<br>代表幹事            | 松田 久  | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第3代会長  | 高越 哲彦 |
| 衆議院議員           | 逢沢 一郎 | 岡山県中小企業団体中央会<br>会長                | 武田 修一 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第4代会長  | 中野 剛  |
| 衆議院議員           | 山下 貴司 | 岡山県商工会連合会 会長                      | 吉澤 威人 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第5代会長  | 難波 圭吾 |
| 衆議院議員           | 平沼 赳夫 | 岡山県商工会議所連合会 会長                    | 岡崎 彬  | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第7代会長  | 中川 和洋 |
| 衆議院議員           | 橋本 岳  | 岡山商工会議所 会頭                        | 井上 峰一 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第8代会長  | 西下 裕平 |
| 衆議院議員           | 阿部 俊子 | 倉敷商工会議所 会頭                        | 松田 欣也 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第9代会長  | 角南 平治 |
| 衆議院議員           | 池田 道孝 | 津山商工会議所 会頭                        | 原田 格二 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第10代会長 | 岡田 伸政 |
| 衆議院議員           | 津村 啓介 | 玉島商工会議所 会頭                        | 三宅 照正 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第11代会長 | 中塚総一郎 |
| 衆議院議員           | 柚木 道義 | 玉野商工会議所 会頭                        | 高田 幸雄 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第12代会長 | 小野 貫治 |
| 衆議院議員           | 高井 崇志 | 児島商工会議所 会頭                        | 鳴本 哲矢 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第13代会長 | 渡辺 祐三 |
| 参議院議員           | 石井 正弘 | 笠岡商工会議所 会頭                        | 川井 眞治 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第14代会長 | 三宅 和彦 |
| 参議院議員           | 藤井 基之 | 井原商工会議所 会頭                        | 長崎 信行 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第15代会長 | 小林 伸一 |
| 参議院議員           | 谷合 正明 | 備前商工会議所 会頭                        | 藤岡 孝  | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第16代会長 | 狩野 良弘 |
| 参議院議員           | 江田 五月 | 高梁商工会議所 会頭                        | 清水 男  | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第17代会長 | 清水 明人 |
| 中国経済産業局長        | 畑野 浩朗 | 総社商工会議所 会頭                        | 林田 昌吾 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第18代会長 | 頼経 正  |
| 岡山県知事           | 伊原木隆太 | 新見商工会議所 会頭                        | 窪津 誠  | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第19代会長 | 田中 修  |
| 岡山県議会 議長        | 小野 泰弘 | 岡山県商工会議所連合会 専務理事                  | 山本 樹育 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第20代会長 | 神田 英則 |
| 岡山市長            | 大森 雅夫 | 岡山商工会議所 専務理事                      | 福森 豊  | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第21代会長 | 山岡 秀樹 |
| 倉敷市長            | 伊東 香織 | 公益社団法人日本青年会議所 会頭                  | 坪井 綾広 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第22代会長 | 黒田 季之 |
| 津山市長            | 宮地 昭範 | 公益社団法人日本青年会議所<br>中国地区担当常任理事       | 醍醐 正明 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第23代会長 | 永山 久徳 |
| 玉野市長            | 黒田 晋  | 公益社団法人日本青年会議所<br>中国地区岡山ブロック協議会 会長 | 佐藤 康  | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>第24代会長 | 島 一郎  |
| 笠岡市長            | 三島 紀元 | 公益財団法人全国法人会総連合<br>青年部会連絡協議会 会長    | 中野 旬一 |                          |       |
| 岡山県市長会 会長       | 瀧本 豊文 | 全国中小企業青年中央会 会長                    | 植村 和宣 |                          |       |
| 井原市長            | 片岡 聡一 | 岡山県中小企業団体青年中央会<br>会長              | 岩野 友彦 |                          |       |
| 総社市長            | 近藤 隆則 | 岡山県商工会青年部連合会 会長                   | 長尾 説子 |                          |       |
| 高梁市長            | 石垣 正夫 | 岡山県商工会議所女性会連合会<br>会長              | 玉置 俊作 |                          |       |
| 新見市長            | 吉村 武司 | 岡山県商工会議所青年部連合会<br>初代会長            |       |                          |       |
| 備前市長            | 宮武 博  |                                   |       |                          |       |
| 岡山市議会 議長        | 中島 博  |                                   |       |                          |       |
| 岡山県経済団体連絡協議会 座長 | 末長 範彦 |                                   |       |                          |       |
| 岡山県経営者協会 会長     |       |                                   |       |                          |       |

## 御 礼



岡山県商工会議所  
青年部連合会  
会 長

### 小松原 博幸

日本商工会議所青年部第35回全国大会「吉備の国おかやま大会」が、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、また、全国各地からYEGメンバーの皆様にご参加いただき、無事に終了できましたことに、主管地である岡山県商工会議所青年部連合会を代表いたしまして心より厚くお礼申し上げます。

平成27年度日本YEGが掲げられたスローガン『YEG EMBLEM 繋がりを我が力に変えて! 更なる「連帯の証」を求めよう!』のとおり、伴会長は全国各地のYEGをご訪問され、地域YEGメンバーとの繋がりを広めてまいられました。まさに平成27年度のスローガンである「連帯」の言葉が示すとおり、一人一人ができることは小さくとも繋がることで大きな「力」となったと私自身強く確信しました。また、このたびの吉備の国おかやま大会では、大きく繋がれた全国YEGの連帯の一部である「おかやま」の地において、その繋がりが更に大きく強固なものとなり次代へ繋がっていく大会の一步になることを目指してまいりました。

本大会では、日本YEG諸会議・前泊者懇親会、そして会員総会・記念式典・大懇親会など開催地である岡山市をメイン会場とし、津山、玉島、玉野、井原、総社、備前、新見、岡山、児島、高梁、倉敷、笠岡の岡山県連全12単会が分科会や物産展などを開催し、おかやまの魅力を精一杯皆様へ届けさせていただきました。結果、

皆様のおかげをもちまして、目標とした登録者数5,000名を大きく上回る登録をいただき、大変賑やかな全国大会を開催することができました。

全ては『YEGの名のもとに全国から集う仲間を迎えるため』この一念で、我々岡山県連が一丸となり、大会コンセプトとして掲げます「SUPER LOCAL! ~ CHANCE × CHALLENGE ⇒ CHANGE ~」のとおり、「おかやま」にしかできない「おかやま」でしか味わえない全国大会に挑戦させていただきました。開催までの道のりにおいて本当に多くの困難がありました。単会、県連、実行委員会といった組織の隔たりを如何に埋めていくか、メンバー一人一人の気持ちを如何に高めていくか、同じ方向に向けていかなど様々な障壁を乗り越えることで岡山県連は変わることができました。本大会を通じて得たものは多大なるものであり。我々はこの大変貴重な経験を今後の活動の糧とし、更なる成長を目指してまいります。皆様におかれましても「おかやま」で学んでいただいたことを成長の糧としていただきますとともに、それぞれの地域において、我々YEGメンバーが地方創生の形を発信していただきたく存じます。

結びにあたり、本大会の開催にあたり多大なるご支援とご協力をいただきました関係各位の皆様、そして日本全国のYEGメンバーに心から感謝申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。



## 御 礼



日本商工会議所青年部  
第35回全国大会  
吉備の国おかやま大会  
大会会長

### 吉田 大助

全国よりご参加いただきましたYEG会員の皆様、そしてOB会員の皆様、日本商工会議所青年部第35回全国大会吉備の国おかやま大会にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

現在410単会、45道府県連、9ブロック、31,000名以上のメンバーが所属する団体となり、名実ともに日本を代表する青年経済団体となっております。各地域のメンバーは、自分が生まれた故郷、今を生き抜く地域の明日をよりよきものにしようと今日を一所懸命に考え行動し、青年経済人としての使命を果たそうと努力されています。

全国大会を主管するにあたり、PRキャラバンによって全国のメンバーに我々岡山県商工会議所青年部連合会の思いを伝えようと努力してきました。ところが、全国各地のYEGメンバーとふれあうことで、伝えるのではなく、全国のメンバーの声、志を各地域で聞くこと、感じることができました。そして、何よりも全国各地のYEGの繋がりを実感する機会をいただきました。

今年度、日本YEGは、伴会長の「YEG EMBLEM 繋がりを我が力に変えて! 更なる「連帯の証」を求めよう!」というスローガンのもと、全国各地で様々な活動をしてまいりました。その活動は、メンバー自身を成長させ、自企業が発展し、地域貢献に繋げていくことを目的としています。本来ならば社業に集中すれば効率がよ

いのだと思います。しかしながら、青年経済人にとって大切な時間やコストをかけて、自分たちが住む街のよりよき明日のために、あえてYEG活動をする我々は、地元の名も無きヒーローなのだと思います。我々YEGメンバーが活動をやめてしまったら、地元につながる祭事、行事、そして人の繋がりなど地域にとって大切なアイデンティティがなくなってしまうかもしれません。このような地域で活躍するYEGメンバー一人一人の成長が、自分たちの街を強くする。これが「SUPER LOCAL!」に込めた意味です。

全国各地で、「SUPER LOCAL」な街の地元の名も無きヒーローであるYEGメンバーのために一年に一度くらい全国各地のYEGメンバーが一堂に会して、お互いを称えあう場をつくりたい、咲き誇れる場を用意したい、YEGの繋がりは力であり、全国大会をYEGの連帯の証にしたいという思いだけで、岡山県商工会議所青年部連合会一同にて開催いたしました。

皆様のご協力のおかげで、全国のYEGメンバーが咲き誇れる全国大会を皆さんとともに創りあげられたと自負しております。

結びとなりますが、本大会開催にあたり多大なるご支援、ご協力を賜りました皆様、地域の方々に、心より厚くお礼を申し上げます。

## 御 礼



日本商工会議所青年部  
第35回全国大会  
吉備の国おかやま大会  
大会実行委員長

### 和氣 伸吉

日本商工会議所青年部第35回全国大会「吉備の国おかやま大会」が平成28年2月18日(木)から20日(土)にかけて開催され、全国より5,974名もの皆様にお越しいただき、無事に終了することができました。

改めて本大会開催にあたりご尽力いただきました皆様、そして日本全国よりお越しいただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

この4日間のために、数年間に渡り日本中を駆け巡り、熱い絆が結ばれ、岡山県連総勢1,138名のメンバーが本大会に懸ける思いを伝えてきました。その熱意と努力が実り、予想以上のご登録をいただくという素晴らしい結果を残すことができたのだと思います。そしてお越しいただく皆様に最善のおもてなしをするため、また岡山の伝統と風土を知っていただくために、メンバーが一丸となり、日々議論に議論を重ねて参りました。全員が真剣ゆえに意見のぶつかり合いもありましたが、細部に至るまで丁寧に討論した結果、より強固な繋がりに変える

ことができました。

本大会を振り返りますと、平成27年度日本商工会議所青年部伴会長が掲げるスローガン『YEG EMBLEM 繋がりを我が力に変えて! 更なる「連帯の証」を求めよう!』をまさしく体現できた大会になったと感じます。また自分自身にとっても、岡山県の歴史・財産や、交通面・ハード面の問題を改めて学ぶことができ、多くの重要な知識を得ることができた機会となりました。大会は無事に終了しましたがこれをゴールとせず、岡山県連メンバー一同、培った知識や経験をもとに今後も更なる進化をしていくため、邁進する所存です。

結びとなりますが、本大会を通じて全国各地の我々一人一人が自分自身を超えて成長し、全国各地のメンバーと結びついたことで、YEGが更なる力を発揮していくことを祈念申し上げ、大会のご報告ならびにお礼とさせていただきます。

## 大会プログラム

平成28年

2/17 水

### 大会成功祈願

【15:30～16:30】

会場 岡山神社

岡山市北区石関町2-33



2/18 木

### 登録受付

【8:30～19:00】

会場 ママカリフォーラム

岡山市北区駅元町14番1号  
TEL:086-214-1000



### 日本YEG諸会議

【9:00～17:40】

会場 ママカリフォーラム

岡山市北区駅元町14番1号  
TEL:086-214-1000



### 岡山県・岡山市表敬訪問

【16:00～16:45】

会場 岡山県庁

岡山市北区内山下2丁目4番6号  
TEL:086-224-2111



会場 岡山市役所

岡山市北区大供1丁目1番1号  
TEL:086-803-1000



### 前泊者懇親会

【18:30～20:30】

会場 ホテルグランヴィア岡山

岡山市北区駅元町1番5号  
TEL:086-234-7000



## 大会プログラム

平成28年

2/18<sub>木</sub>2/19<sub>金</sub>2/20<sub>土</sub>2/19<sub>金</sub>

## 超(スーパー)あきんど塾

【18<sub>木</sub>…13:00~23:00】【19<sub>金</sub>…9:00~17:20】【20<sub>土</sub>…14:00~18:30】

会場 岡山国際交流センター

岡山市北区奉還町2丁目2番1号 / TEL:086-256-2905

概要 中小企業経営者が生き残るために死ぬ気で頑張るガチンコ勉強会

A 座学講義 講師：岡山YEG ビジネス部会 副部長 日笠 保彦

B 実践例講義 講師：NNA株式会社 代表取締役 佐藤 元相(さとう もとし)氏

1962年大阪生まれ。在阪の中小企業に従事した自らの体験を踏まえ、コンサルタントとしてこれまで1300社以上の指導実績を持つ。また、豊富な現場経験から生み出された「No.1戦略」「下請脱却戦略」をはじめ多彩なテーマで年間130回以上のセミナーを行い、「実践的かつ即効性がある」と好評を博している。自ら主催する経営塾「あきない実践☆道場」には、全国からたくさんの経営者が参加。その理論を実践し短期間に多くの成功事例を生み出している。

C 課題ワーク 自社への応用を考える

D チーム討議 廻りのアドバイスを活かす



## 登録受付

【8:00~15:30】

会場 ママカリフォーラム

岡山市北区駅元町14番1号  
TEL:086-214-1000

【17:00~19:00】

会場 ジップアリーナ岡山

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号  
TEL:086-253-3944

## 日本YEG諸会議

【9:00~12:30】

会場 ママカリフォーラム

岡山市北区駅元町14番1号  
TEL:086-214-1000

## 会員総会

【13:00~15:00】

会場 ママカリフォーラム

岡山市北区駅元町14番1号  
TEL:086-214-1000



## 大会プログラム

平成28年

### 第1分科会(岡山YEG) 岡山からスーパーローカルアソシエイト

**2/19**金【13:00～16:00】



国の成長戦略の「地方創生」について、「ビジネス」と「家族」をテーマとして考える場とし、「勇強と慈愛」の精神が宿る岡山の地において、ハイコー(廃校:旧内山下小学校)を会場として、基調講演、ワークショップ、プレゼン大会、交流会などを行います。産学官民農の広範囲なネットワークの形成と活発な交流を目的とし、情報交換や親睦により相互のコミュニケーションを深めて、自企業・自身の発展にお役立ていただき、青年経済4団体による「連帯の証」となる分科会とします。

**会場** 旧内山下小学校(岡山市北区丸の内1丁目2番12号)  
岡山後楽園(岡山市北区後楽園1番5号)  
岡山城(岡山市北区丸の内2丁目3番1号)

### 第2分科会(津山YEG) 津山城の石垣とともに積み上げた肉文化～味わい尽くしに来んちゃい～

**2/19**金【9:00～17:00】



**1 津山歴史探訪** 日本屈指の石垣を誇り近年再建された備中櫓を持つ津山城跡、国重要伝統的建造物群保存地区に認定され今後は観光資源として期待されている城東地区の町並み、津山の歴史が分かり、『江戸一目図屏風』を展示している津山郷土博物館やつやま自然のふしぎ館など他には無い歴史と文化、江戸時代から蘭学先進地として優秀な医者・学者を輩出してきた県北の医療拠点である津山市に来春開設される中四国初のがん先進治療「陽子線治療センター」など、津山の歴史や文化を伝えながらこのタイミングでしか見学することができない最新施設を訪ねていただきます。

**2 肉文化** 「養生喰い」とは、字の如く「健康のために食べる」、「薬として食べる」ということです。昔から食べられてきた津山独特の食べ方を味わっていただくためのお料理をご用意しております。テレビ番組で、紹介された牛の煮こごり、そずり鍋、干し肉、ホルモンなど、津山独特の肉料理があります。津山独自の肉の食べ方や肉の歴史は胃袋に一食の価値があります。

**会場** 一般財団法人津山慈風会 津山中央病院(岡山県津山市川崎1756)  
津山国際ホテル(岡山県津山市山下98-2)  
つやま自然のふしぎ館(岡山県津山市山下98-1)  
津山郷土博物館(岡山県津山市山下92)  
津山観光センター(岡山県津山市山下97-1)

### 第3分科会(玉島YEG) 温故知新～港町玉島の歴史と文化を知り、現代のビジネスヒントを得る～

**2/19**金【10:00～16:10】



**1 円通寺散策・備後屋にて昼食** 良寛和尚が青年時代に修行したお寺として有名な円通寺を観光ガイドの案内のもと散策し、その後備後屋(1914年創業)にて玉島の海の幸など地元食材を使用した料理を堪能していただきます。

**2 菊池酒造(株)・玉島味噌醤油 見学** 菊池酒造(株)(1878年創業)では、日本酒「燦然」などの製造見学や日本酒の試飲を行います。また菊池酒造の隣にある玉島味噌醤油(1920年創業)も見学していただきます。こちらでは、味噌・醤油だけでなくおつまみやアイスクリームなどのユニークな商品も開発しており、そのお話などを伺います。

**3 株豊島屋 見学** (株)豊島屋(1720年創業)は、タテソースブランドとして玉島の地でソースを製造しています。「超・激辛ソース」「ホルモン焼きのたれ」など様々な商品開発を行っている大野豊社長にご講演いただきます。

**会場** 円通寺(岡山県倉敷市玉島柏島451)  
備後屋(岡山県倉敷市玉島阿賀崎956)  
菊池酒造(株)(岡山県倉敷市玉島阿賀崎1212)  
玉島味噌醤油(岡山県倉敷市玉島阿賀崎1208)  
(株)豊島屋(岡山県倉敷市玉島中央町1-7-8)

## 大会プログラム

平成28年

## 第4分科会(備前YEG) 日本遺産閑谷学校・備前焼とカキオコを巡る旅

2/19金 [10:00~17:30]



陽明学者・熊沢蕃山を招き、日本最初の藩校を開いた池田光政。その池田光政が、日本初の庶民の学校として津田永忠とともに設立した閑谷学校では、「仁・義・礼・智・信」という現代のビジネスにも通じる道徳を中心とした教育が行われていました。本分科会では、「特別史跡・旧閑谷学校」(日本遺産第一号)にて儒教の教えに触れるとともに、日本六古窯のひとつ「備前焼」、その一千余年の伝統と進化を感じていただきます。また、全国的に有名となったシーズン真っ盛りの「カキオコ」をご用意し、備前を味わっていただきます。

会場

閑谷学校(岡山県備前市閑谷784)  
備前焼窯元 備州窯(岡山県備前市伊部302-2)  
備前焼の里(岡山県備前市伊部地区)

## 第5分科会(児島YEG) 瀬戸内海周遊からの藍染体験～国産ジーンズ発祥の地 児島 を知ろう～

2/19金 [10:20~17:30]



岡山県漁連水産物展示直売所ふゆ〜ちゃ〜にて風味豊かな下津井だこや瀬戸内海の魚介類をふんだんに使った地元での日常の味をご堪能いただきます。2班に分かれ交互に藍染体験並びに再生計画中のジーンズストリートを散策いたします。さらに海上より瀬戸大橋の雄大な美しさと、瀬戸内海の多島美をめぐるクルージングを行い、楽しく学べる分科会を開催いたします。

会場

児島ジーンズストリート(岡山県倉敷市児島管内 味野商店街)  
藍畑(岡山県倉敷市児島味野1丁目12番10号)  
児島観光港(岡山県倉敷市児島駅前3丁目23番地)  
岡山県漁連水産物展示直売所ふゆ〜ちゃ〜(同上)  
鷺羽山展望台(岡山県倉敷市下津井田之浦1丁目1番地)

## 第6-a分科会(倉敷YEG) 瀬戸内に広がる全国有数コンビナート水島臨海工業地帯『倉敷から世界へ! 倉敷原動力の源』

2/19金 [12:00~17:00]



2003年4月に誕生したJFEスチール西日本製鉄所は、高度な技術力と最適生産性により、グローバルな大競争時代を勝ち抜く、世界最大・最強の製鉄所です。当分科会では、JFEスチール西日本製鉄所を見学することで、国際競争力強化事業「水島コンビナート・ルネッサンス」による徹底したコストダウンによって、これからのグローバル社会へ勝負をかけた現状を学びます。

会場

JFEスチール西日本製鉄所 倉敷地区  
(岡山県倉敷市水島川崎通り1丁目)

## 大会プログラム

平成28年

### 第6-b分科会(倉敷YEG) 日本有数の天領だった地域の時代背景を体感「倉敷歴史ビジネスのぶらり旅」

**2/19** 金 【12:00～17:00】



日本有数の天領となった地域の時代背景を感じていただき、現代の街の実態を知っていただく。有隣荘は、倉敷の素封家である大原家の別宅として昭和3(1928)年に完成いたしました。大原美術館の創設者として知られる実業家大原孫三郎が病弱な妻寿恵子を気遣い、「家族のための落ち着いた住まいを」と建設されたものです。有隣荘の設計、デザインには大原美術館を手がけた葉師寺主計、明治神宮や築地本願寺の造営で知られる伊藤忠太という二人の優れた建築家とともに、泰西名画収集に尽力し大原美術館の礎を築いた洋画家児島虎次郎が深くかかわりました。有隣荘は和洋折衷でありながら、三者それぞれの美的感覚がバランスよく調和した、おほかで優雅な名建築として高く評価されています。庭は、近代日本庭園の先駆者であり平安神宮神苑や山県有朋邸(無鄰菴)など数々の名庭を手がけた庭師七代目小川治兵衛によるもの。讃岐高松城のものであったという庵治の巨石を贅沢に配した明るい庭は、室内空間と見事に一体化した心地よい広がりを出しています。昭和10(1935)年に大原美術館の所有となって以降、有隣荘は迎賓館として役割を担い、昭和天皇をはじめ多くの方々のご希望にお応えして平成9年より年2回の特別公開をしています。

**会場** 倉敷美観地区(有隣荘)(岡山県倉敷市中央1丁目3-18)

### 第7分科会(井原YEG) 貸切ローカル列車で行く、国産デニムの聖地『井原』の秘密探訪ツアー

**2/19** 金 【10:00～17:35】



**1**デニム工場見学・体験、商談目的大歓迎! 世界最高品質の1つと認められ、欧米中心に多く輸出されている井原デニム。今回は近代化産業遺産に指定された歴史の深い会社を特に選択し、めったに見ることのできないデニム工場の様々な加工工程を見ていただきます。また、見学を通じて井原がなぜ「国産デニムの聖地」なのかをご理解いただけると共に、井原なりの生き残り戦略を知ることで、企業戦略の一端を学んでいただけたと思います。デニム製品の加工体験もあり、制作した製品はお持ち帰りいただけます。工場見学では「同業他社はお断り」が非常に多いのですが、今回は同業者の方、商談の下見も大歓迎!見学先での名刺交換など、ビジネスの機会を提供いたします。

**2**貸切ローカル列車で吉備路をのんびり列車旅! JR吉備線、井原鉄道線と貸切列車で乗り継ぎながら、井原までの旅をお楽しみください。井原鉄道は元々、JR吉備線の延長として計画された路線でしたが、平成11年に第3セクターとして開通にこぎつけました。今回、岡山からの直通列車を計画しましたが、残念ながら実施には至りませんでした。それでも沿線は観光地の宝庫!井原鉄道名物・井原マイレールプラザによるボランティア沿線ガイドを聞きながら、「吉備の国」の歴史と文化をしっかりと堪能していただけます。井原鉄道線で使用する車両は「夢やすらぎ号」。JR九州ななつ星や九州新幹線を手がけた水戸岡氏によるデザインで、天然木の温かみを活かした暖かい雰囲気の特徴です。復路の列車内では井原と深い関係のあるサッポロビールを味わいながら参加者同士の交流も深めていただけます。現地移動の行き帰りですら、決して退屈させません!

**会場** 井原市内各所 ご協力:日本綿布株式会社、株式会社辺本、D# the store(井原被服協同組合)

### 第8分科会(総社YEG) 総社の恵まれた水源がもたらす「赤米とカルピス」～古代から現代までつながる食文化～

**2/19** 金 【11:00～16:40】



**1**岡山市から総社市へ移動中のバスの車中で、YEGガイドによるアナウンスで楽しんでいただきます。桃太郎伝説のルーツ「鬼ノ城」などの沿線名所を車中よりゆったりとご覧いただきます。

**2**昼食には古代米・赤米を使った「赤米料理」をご用意させていただき、赤米の歴史を紹介いたします。

**3**カルピス岡山工場の方をお招きして、カルピスの歴史・企業概要をお話していただいた後、カルピス社員とおきのレシピ料理とダブルカルチャード(カルピス×ビール)や総社ご当地カクテルなどのカクテル飲料(ノンアルコールもあり)をご賞味いただきます。

**4**気軽に交流できるアトラクションも準備しており、YEGの絆を深めていただきます。

**5**お帰りの際に総社市のシンボル備中国分寺五重塔をご覧いただき、吉備の歴史を最後まで堪能ください。

**会場** サントピア岡山総社(岡山県総社市秦1215番地)



## 大会プログラム

平成28年

## 第9分科会(新見YEG) カルスト台地からの贈り物! 千屋牛の里から最高品質を全国へ!

2/19金【9:45~17:00】



**1 黒毛和牛のルーツ「千屋牛」の食体験** 千屋牛は、岡山県の北部の一部で育てられる黒毛和牛です。昔はブランド牛という言葉もなく、昭和に入り和牛登録協会の創設者羽部義孝氏が和牛のルーツを調査すると、日本最古の蔓牛(つるうし)が新見市に存在することが判明しました。それから千屋牛は、和牛の原点であり“和牛の中の和牛”と呼ばれるようになりました。日本全国に広がるブランド牛もこの千屋牛が原点となり広まっていったと言われております。その千屋牛を美食家「北大路 魯山人風すき焼き」でお召し上がりいただきます。

**2 カルスト台地からの贈り物「TETTAワイン」の食体験** ワインの銘醸地・ブルゴーニュと似た気候と風土を活かし、ワイン用などのブドウ栽培が行われています。このブドウから醸造されたワインは、国産ワインコンクールで受賞するなど専門家から高い評価が与えられています。ワインをお召し上がりいただきます。

**3 一般の人は見学できない神秘の世界、食品添加物になる石灰採掘坑道見学** 石灰は、製紙をはじめゴム・プラスチック、塗料、シーリング材の各分野で大きな成果を上げていますが、今回見学する備北粉化工業株式会社は、特別に純度の高い鉱山から採掘し、さらに厳選した鉱石を高度な粉碎技術によって精製微粉碎した炭酸カルシウムを製造しており、オンリーワンの評価を受けています。純度98.5%以上、白色度96%以上の高品位で無味・無臭・無害。医薬品は制酸剤の原薬として、食品添加物としてはカルシウム補強に使用されています。さらにハイテック分野からも大きな期待を寄せられています。

会場

哲多食源の里 祥華(岡山県新見市哲多町宮河内1113-1)  
備北粉化工業株式会社 唐櫃鉱山(岡山県新見市哲多町本郷1073)

## 第10分科会(高梁YEG)

ただいまブレイク中の備中高梁で天空の世界を体感!  
天空の山城列車で行く『旬な高梁歴史めぐり』で先人から学ぼう!

2/19金【9:34~17:00】

※早朝オプションコース 7:20~



頼久寺庭園では、江戸初期屈指の作庭家、小堀遠州作の蓬萊式枯山水の名庭を楽しんでいただきます。また茶席を設け、遠州流独特の「綺麗さび」の世界を学ぶとともに地元大学生・市民との交流を深める場とします。備中松山城では、全国現存12城のうち唯一の山城である天守閣へ実際に登城いただき、先人たちの知恵や苦勞、お城の魅力を堪能していただきます。昼食には、地元特産品をたっぷり盛り込んだ備中高梁グルメを味わっていただくとともに、国指定重要無形文化財「備中神楽」など伝統芸能にも触れていただきます。高梁への交通手段としては、JRの協力による臨時特別列車、「天空の山城」号を走らせ、清流「高梁川」や、のどかな田園風景でくつろぎを感じていただきながら、特別企画でのおもてなしを計画しております。

オプションとして、早朝より話題の備中松山城の雲海を見学するコースを設けます。主に高梁への前泊者、また東京方面からの、今春より備中高梁駅へ停車することになった寝台特急「サンライズ出雲」号の利用者などが対象となりますが、雲海展望台の他、一般コースに合流するまで、山田方谷の関連する史跡を散策する予定です。(雲海は気象条件によりご覧いただけない場合があります。)

会場

備中松山城・頼久寺他

## 第11分科会(日本YEG) YEG業種別部会

2/19金【15:30~17:30】



全国各地3万人以上のYEGメンバーが持っている情報や経験、そのネットワークを駆使して地域を超えた新たな気づきやビジネスチャンスを生み出し、メンバーが共に成長し合える事業です。

平成27年度に行われた日本YEG開催のビジネス交流会にて成立したYEGメンバーのビジネスマッチング成功事例の発表、海外ビジネス成功事例発表、自社企業の発展に繋がるテーマでのグループディスカッションを予定しております。

会場

ママカリフォーラム1F イベントホール  
(岡山市北区駅元町14-1フォーラムシティビル)

## 大会プログラム

平成28年

2/19<sub>金</sub>

2/20<sub>土</sub>

### OBサロン

【19<sub>金</sub> …13:30～16:30】

**会場** ANAクラウンプラザ  
ホテル岡山  
19F『宙(そら)』

岡山市北区駅元町15番1号  
TEL:086-898-1111



### 大懇親会

【19<sub>金</sub> …18:00～19:30】

**会場** ジップアリーナ岡山

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号  
TEL:086-253-3944



### 物産展

【19<sub>金</sub> …10:00～16:00】

**会場** ママカリフォーラム

岡山市北区駅元町14番1号  
TEL:086-214-1000



【20<sub>土</sub> …9:00～16:00】

**会場** ジップアリーナ岡山

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号  
TEL:086-253-3944





## 大会プログラム

平成28年

2/20<sub>土</sub>

## 登録受付

【9:00～12:00】

会場 ジップアリーナ岡山

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号  
TEL:086-253-3944

## 記念式典

【10:00～12:00】

会場 ジップアリーナ岡山

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号  
TEL:086-253-3944

## 記念講演

【12:30～13:30】

会場 ジップアリーナ岡山

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号 / TEL:086-253-3944

講師 堀江 貴文(ほりえ たかふみ)氏

演題 失敗から学ぶ、ホリエモン流経営学  
～マイナスからイチへと始まるチャレンジ精神～

1972年、福岡県生まれ。SNS株式会社ファウンダー。現在は自身が手掛けるロケットエンジン開発を中心に、スマホアプリ「TERIYAKI」「755」のプロデュースを手掛けるなど幅広い活躍をみせる。

HORIEMON.COMの人気コーナー「WITH」では『世界を変える最先端技術』をテーマに、各界のイノベーター達に堀江自らがインタビュアーとなり取材したものを連載中。有料メールマガジン「堀江貴文のブログでは言えない話」の読者は1万数千人の規模に。

2014年8月には会員制のコミュニケーションサロン「堀江貴文サロン」(<http://salon.horiemon.com/>)をスタートした。

近著に『逆転の仕事論』『我が闘争』など  
Twitterアカウント:@takapon\_jp  
その他、詳細は HORIEMON.COM へ。

## 大会プログラム

平成28年

2/20<sub>土</sub>

### 記念事業(卒業式)

【13:45～14:45】

会場 **ジップアリーナ岡山**

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号  
TEL:086-253-3944



### 解団式

【15:30～16:30】

会場 **ジップアリーナ岡山**

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号  
TEL:086-253-3944



### 日本YEG諸会議

【16:30～17:30】

会場 **ジップアリーナ岡山**

岡山市北区いずみ町2丁目1番3号  
TEL:086-253-3944



### エキスカーション 西大寺会陽体感ツアー

【14:00～23:30】

会場 **西大寺観音院**

岡山市東区西大寺中3丁目8番8号



**概要** 日本三大奇祭である西大寺会陽(はだか祭り)を体験していただきます。少年はだか祭り、女性のはだか祭り、はだか祭りに参加するもよし、観覧して雰囲気味わうのもよしの体感ツアーを実施いたします。



## 吉備の国おかやま大会組織図



## 部会報告

### 大会総務部会

【平成28年2月18日(木)～2月20日(土)】

部会長名 太田 文男（所属単会:岡山YEG）

実施場所 ママカリフォーラム、ジップアリーナ岡山

#### 部会長所見 1 PRグッズ・予告動画

吉備の国おかやま大会のPRスタートとなる京都大会に間に合わせるべく、シンボルマークデザイン、大会予告チラシ、全国大会用名刺、横断幕、幟(のぼり)、法被(はっぴ)、ブルゾン、ピンバッジ、そして、予告動画の作成を行いました。予告動画については、過去の全国大会から趣向を大きく変え、前半部分で今を超えて咲き誇るYEGメンバーを表現し、後半部分で地元の女子大生が観光地を案内するという斬新な内容にしました。「岡山は田舎で、観光地も名所も多くはない」「岡山ですみません」「本気のおもてなしにご期待ください」などの文言について様々な意見が出ましたが、「賛否両論ある場合は原則採用」を念頭に制作しました。

#### 2 記念誌・協賛広告

記念誌については、平成27年8月から掲載内容の検討を開始し、10月下旬よりデザイン会社を含めた制作を開始しました。本誌面全48ページのうちの多くが、日本商工会議所会頭や岡山県知事をはじめ、県連各単会などからの寄稿文で占められており、修正確認のやりとりが多く発生するため、例年同様の構成であってもかなりの時間を要する作業となりました。また、「全国YEG一覧」について全国単会の設立年月の確認調査を実施するなど、掲載内容の正確さを第一に、編集・校正を重ねました。

協賛広告についても平成27年8月から本格的に募集を開始し、425社、96ページ分の広告をいただきました。広告原稿の内容チェックや、提出フォーマットの誤りへの対応、広告未提出者への催促などに多くの時間を費やしました。また、申込締切を過ぎた後も追加申込が後を絶たず、記念誌の印刷開始ギリギリまでこの作業に追われました。

#### 3 登録キット

岡山県が国産ジーンズ・国産デニム発祥の地であることを日本に広めることを目的として、デニムトートバッグを登録キットのバッグとして使用することとしました。デニムトートバッグの企画にあたっては、児島YEG、井原YEGの協力を得て、またデザインについても多くのメンバーの意見を反映させて、オリジナル非売品の2種類のデニムトートバッグを完成させることができました。「児島の方がいい」「いや、井原のほうがいい」と半々くらいのご意見をいただき、どちらの利用者からも好評を得ることができました。

また、お土産としては、岡山を代表する名産品の一つである「きび団子」と「ママカリ浜焼き」を選びました。

約6,000セットの登録キットの封入作業については、YEGメンバーの会社の作業場をお借りして、5日間かけて実施しました(9時間×3日間(作業人数:約13名)、4時間×2日間(作業人数:約8名))。記念誌の内容が大会開催直前まで確定しないこと、登録人数も直前まで確定しないことなどから、登録キットへの封入物が取り揃うのは大会開催直前になってしまいます。厳しいスケジュールでの作業となりました。

#### 4 登録受付設営

受付会場については、2月18日～19日15:00までがママカリフォーラム、19日15:00よりジップアリーナ岡山に移動し、19日17:00～20日の終了まで登録受付を行いました。最初の段階で、登録キットを詰めた段ボール箱数は約160箱でした。移動前までになるべく多くの方に受取りに来ていただきたいと思っていた所、約40箱まで減り、余裕を持って移動できました。

登録システムを通らずに当日登録受付される方の人数については、100名程度を想定し、受付にはプリンターを2台配置して、登録証のラベル印刷が迅速に行えるよう準備しました。メールでの追加登録を大会前日まで実施した結果、当日登録受付は17名となり、メール受付を開催直前まで行ったことが、当日登録受付の混雑を緩和させたと思います。



## 部会報告

また、受付では現金は一切取り扱わない方針で考えておりましたが、OBと非会員の当日登録他、一部のイベントについて当日集金を行うことに変更し、混乱なく実施できました。

受付での登録キットのお渡し方法は、最初は、単会毎にまとめてお渡しする方針としていましたが、分科会などで単独で来られる方が予想以上に増えてきたため、途中からルール変更して、希望があれば1部ずつでもお渡しする方針に変更しました。お渡しした方の名前の管理がたいへんでしたが、大きな渋滞も発生しませんでしたし、この方針変更はおもてなしの意味からも正しかったと思います。

### 5 クローク設営

クロークについては、ママカリフォーラムが荷物、コートそれぞれ400人分、ジップアリーナ岡山が荷物1,200人分、コート1,000人分のキャパシティを準備しました。荷物、コート合わせての利用者総数は、ママカリフォーラムが500人、ジップアリーナ岡山が2,100人であり、十分なキャパシティでした。記念式典前に待ち行列が発生した以外はスムーズな対応ができました。自作タグを制作したことがスムーズに対応できた要因だったと思います。

### 6 実行委員会設営・議事録作成

大会総務部会では、全18回にわたる大会役員会と、全29回を数えた運営会議について設営と議事録作成を担当しました。

議事録作成は、メモの文書化やテープ起こしなど、緻密な作業が大半を占めましたが、大会総務部会メンバーが持ち回りで担当し、ほぼ全員が議事録作成を経験することができました。

また、設営については、岡山県連事務所の難波武典さん、実行委員会事務局(岡山YEG事務局)の古矢博嗣さんに出欠確認、席次、会場確保、配布資料印刷などで、多大なるご協力を賜りました。この誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。

### 改善点・反省点

協賛金集めは多くの方のご尽力のおかげで苦労はございませんでしたが、広告原稿集めはたいへん苦勞しました。提出フォーマットをAI(アドビイラストレータ)形式かPDF形式でお願いしましたが、WORD形式やEXCEL形式での提出が続出し、デザインのズレによる修正が発生するなど、原稿データのやり取りに相当な時間をとられることになりました。AI形式、PDF形式で提出できない方向けに、事前に申込書に「広告作成はお任せします」といったチェック項目を作るべきでした。

大懇親会会場で「登録証必携」としたところ、当日受付に登録証再発行の依頼が30名以上来られ、大懇親会に登録証不携帯で来られている方が多くいらっしゃる事が明確化しました。登録証は会社の社員証や展示会の入場パスと同じように必携とするよう、アナウンスを増やすなど周知徹底が必要と感じました。

登録受付での質問の多くに「宅配業者で地元に登録キットを送りたい」との声が多く聴かれました。ママカリフォーラムの受付には宅配業者を配置しておりませんでしたため、準備不足だったと反省しています。

また、受付での質問には、物産展のことであったり、シャトルバスのことであったり、多岐の内容が含まれており、対応しきれませんでした。こうした他部会の情報も仕入れておくべきであったと反省しています。



## 部会報告

### 式典部会

【平成28年2月20日(土)】

部会長名 岩堂 仁志（所属単会:岡山YEG）

実施場所 ジップアリーナ岡山

参加人数 5,974名

#### 部会長所見

今年度は式典開始時間を9:00スタートから10:00スタートに変更しました。式典開始時には8割近くの方が着席しオープニングアトラクションからザワつくことなく参加いただけたように思います。また、式典と記念講演の間に休憩時間を設けることで、途中抜けすることなく、記念講演も着席した状態でスタートすることができました。

#### 1 全てにバックアップを!

音響、照明、映像、司会者、スタッフに至るまで、全て二重体制で運営しました。

#### 2 講師選定は早めに

大会の核となり目玉の一つでもあるため、早く決めることによって周知でき、関係セクションの作業がスムーズになります。

#### 3 日本YEGとの連携を

当該年度の会長の思いも含めた形で式典が進行されるため、日本企画委員会との連携が大切になります。(吉備の国おかやま大会では9ブロック旗が大会旗を迎えるという演出が加えられました)

#### 4 リハリハは必要

約1ヶ月前、前日、当日朝リハと合計3回のリハーサルを行いました。常に名札をつけた代役が動きを行うことで、会場に応じた進行シナリオを作ることができました。

#### 5 ATをフル活用で

進行台本、実施企画書、看板デザイン図、平面図、スタッフマニュアル、来賓リスト、スケジュール、スクリーン表示用パワーポイント資料など、AT共有フォルダに置くことで、誰もが閲覧でき、修正ができる環境を整えました。これにより、情報の共有ができ、確認、修正作業をスムーズに行うことができました。

#### 6 舞台監督、テクニカルディレクターが必要

音響、照明、映像のプロの業者に依頼するだけでなく、全体を管理する舞台監督やテクニカルディレクターを置くことで、リハーサルの管理から他部会部分の調整も行ってくれるので、プロの部分としては必要な項目と考えます。

#### 7 ドアの開閉について

前大会にならい国歌や挨拶中にはドアをクローズし、幕間をみて開閉を行いました。前日の懇親会の影響かトイレに行かれる方が多く、しっかりとオペレーションを考えないとクレームに繋がります。



## 部会報告

### 改善点・反省点

#### ❶ 提言手交式、BPC表彰は式典の一部に組み込んでよいのでは？

閉会宣言の後、提言の手交式・BPC表彰を行いました。式典が終わった感が強くなり、退場者が見られました。事業の性質上、式典の一部として組み込んでよいと思います。

#### ❷ 来賓の当日変更

ある程度予想はしていましたが、当日の朝本番直前まで来賓やゲストの変更があります。急遽欠席は仕方ないのですが、急に来場される来賓の対応も考慮しておく必要があります。

式典部会は、総務系、交通系、接遇系を中心にあらゆる部会との情報共有（認識）をすることでスムーズに進められると感じました。





## 部会報告

### 大会財政部会

**部会長名** 富岡 正機（所属単会:岡山YEG）

**部会長所見** 大会財政部会は、全国大会の事業が公正妥当になるよう財政面での審査を主として行う部会です。特に発注段階における各部会からの申請を審査し、執行状況においては実地で内容の確認を行いました。また大会期間中は、大会総務部会と連携し、来賓接遇部会、弁当部会といった部門にも積極的に取り組みました。

#### ① 発注申請書などの審査・確認

大会財政部会は、各部会から購入を予定しているもの、役務提供に対して発注申請書、発注理由書、及び発注に至った経緯がわかるものを提出していただき、審査・確認するとともに最終的に実行するに至る「承認」、「差戻」、「保留」の判定を行いました。ただし、この部会が誕生した基本的な考え方は、各部会からの発注を通すにあたり、外部から見て公正妥当と判断できるレベルでの事業を行うことを目的としています。各部会の思いの詰まった申請になりますので、早急に確認作業を行い、書類上になりますが問題点を洗い出し、発注・支払の実行がスムーズに行えるよう心がけてまいりました。当然、申請段階においては問題点も見受けられるため、各部会担当者と申請内容の調整を何度となく行いました。また、執行状況を確認するため、大会事務局長、大会総務部会長とともに、できる範囲になりますが、納入された品目、役務提供、数量などの検査確認も積極的に行いました。

#### ② 大会期間中における来賓接遇部会/弁当部会他

大会期間中は、以下の作業も積極的に行いました。①来賓の控え室でおもてなしをする来賓接遇部会、②期間中のスタッフ全員への弁当発注・配膳を担当する弁当部会、③大会総務部会の受付、クロークなどのお手伝い他、を担当しました。

#### 改善点・反省点

審査・確認作業は、各部会からの申請書などを原則メール提出にて行いました。一連の流れを大会総務部会とともに予めマニュアル化し、大会財政部会でも独自に、Dropboxでの共有、メール、SNSなどを駆使し、合理的な作業にて取り組みました。申請書などの早期提出を、機会があるごとに促しましたが、やはり平成28年1月以降での提出が大量にありました。そのため、部会メンバーには、1月以降ほぼ毎日来る申請書などに目を通していただき、疑問点を洗い出し、各部会へ返して、再度、審査・確認し、承認するといった地道で骨の折れる作業を黙々と行っていたきました。

最後になりましたが、大会財政部会は、どちらかというと裏方としての地味な部会(作業)であり、また少数精鋭で行ったため、部会メンバーには多大なご苦勞をおかけしました。各部会の作業を包括的に確認することができ、また全国大会の中核の仕事を経験させていただいたことを部会メンバー一同誇りに思います。



## 部会報告

### コンファレンス部会

【平成28年2月17日(水)～2月20日(土)】

部会長名 小玉 雄貴（所属単会:岡山YEG）

実施場所 ママカリフォーラム、ジップアリーナ岡山 他

参加人数 約700名

部会長所見 コンファレンス部会は、日本YEGが行う会員総会や役員会をはじめ各委員会まで大小約40の諸会議の会場設営と各要所への表敬訪問のアテンド職務を担当いたしました。諸会議は平成27年度と平成28年度とが同時刻に同会場で行進していくタイトなスケジュールでありましたが、当部会の事前の準備と日本YEG担当者との綿密な打合せができていたため、混乱もなくスムーズな設営ができました。

また、主会場のママカリフォーラム（岡山コンベンションセンター）はコンベンション専用のホールであるため、迅速な対応をしていただき、過去の実績からのアドバイスをいただけたのも成功の要因かと思っております。

表敬訪問につきましても、分単位での車両移動がありましたが、スタッフの適切な準備と行動で問題なく終えることができました。

#### 1 総括

各会議室の割り振りをはじめ具体的な打合せが年始からとなってしまう。これは平成28年度の組織が未確定のため、どうしても年末年始の繁忙時期と重なるためで、1月中旬から本格的に打合せがスタートいたします。このことは前年度（京都）担当者より伺っておりまして、ある程度予測し、それまでできることを進めていったのも成功要因であったと思います。

また、コンファレンス部会は岡山YEGの「例会委員会」が担当いたしました。各種会議場の設営など、単会内で培ったノウハウが十分に活かされていたと思えました。

#### 2 注意点

会議室の電源口数と容量など把握しておき必要に応じ電源タップの追加の用意と設営メンバーと時間の確保が必要です。

各会議時間が短いため、ランチョンでの会議も数会議ありました。準備物や受け渡しのシミュレーションなど、事前考慮が必要です。





## 部会報告

### ビジネス部会

【平成28年2月18日(木)～2月20日(土)】

副部長名 日笠 保彦（所属単会:岡山YEG）

実施場所 岡山国際交流センター

参加人数 14名

#### 副部長所見 1 事前準備について

「超あきんど塾」は、吉田大会会長の「YEGは青年経済人の集まりであり、経済人（商売人）としての力量アップを目指して集ってくれたメンバーが『本当に来てよかった』と思えるビジネス系事業をして欲しい」との想いを受け、中小企業経営者にとって本当に役立つ勉強会とは何かを模索しました。「ランチェスター弱者の戦略」をメインテーマに、日程的・費用的にはハードルが高くて、志の高いメンバーに納得していただける内容のセミナーを準備することを意識の中心において準備を進めました。

ある程度独立した動きがとれ、また参加人数についても事前に確定させることが比較的容易な部会であったため、会場や機材の手配、参加者のための飲食物などの手配については大きな問題もなく、順調に進めることができました。

#### 2 登録者について

今回一番苦労した点は、思った以上に登録数が伸び悩んだことでした。

日程的にも3日間の拘束を要求され、記念式典・記念講演・大懇親会以外の事業には全く参加できないこと、また費用の面でも事業の登録費だけで5万円、大会登録費や交通費・宿泊費まで含めると10万円を超える高額参加費となってしまいました。そのため、登録者数が大きくは伸びないだろうことをあらかじめ予想し、事前に単独案内チラシ3万枚を準備し、すべてのブロック大会や、PRにお邪魔できた単会で配布させていただきましたが、締め切り数日前まで、数名の方のご登録をいただけただけでした。

おかげ様で最終的には14名のご登録をいただくことができましたが、全国のメンバーへきちんとご案内することの難しさを痛感させられました。

ただ、その中でも登録初日（それも登録開始時間直後）に、真っ先にご登録いただけた方がいらっしやったことを伺ったときは本当にうれしく、部会メンバー一同、改めて引き締まった気持ちにさせていただきました。

#### 3 当日の事業運営について

ご登録いただいた方々には、1名の欠席もなく、当日時間通りに事業を開始することができました。

1日目(18日) 13:00～21:00の座学講習と、  
21:00～23:00の参加者意見交換会

2日目(19日) 9:00～17:30の座学講習の後、大懇親会参加

3日目(20日) 式典・記念講演参加の後、14:00～18:30の座学講習と、ハードスケジュールにもかかわらず、お仕事の都合で20日を欠席された1名の方を除き、皆さん最後までご参加いただきました。

参加者の皆様からいろいろと感想をいただきましたが、中でも2日目の午前中に講演いただいた「NNA株式会社佐藤講師」の講演では、「ランチェスター弱者の戦略」を自社に適用し、しっかりと成果をあげられている実際の中小企業の実例を数多くご紹介



## 部会報告

いただくことで、「自社への応用イメージを持てた」との声を数多く頂戴することができました。この事業が少しでも何らかのお役に立てたのではないかと感じました。

### 改善点・反省点

2でも述べましたが、とにかく全国のメンバーへのご案内・周知の難しさを痛感し、もう少し上手いやり方があったのではないかとということが、最大の反省点です。



## 部会報告

### 大懇親会部会

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 森本 英資（所属単会:岡山YEG）

実施場所 ジップアリーナ岡山

参加人数 5,974名

#### 部会長所見

まずはこの場をお借りして、岡山YEGの皆様、岡山YEG OB・OGの皆様、岡山県商工会議所青年部連合会、岡山県商工会青年部連合会、ボランティアスタッフの皆様、ご協力いただいたすべての関係各位に感謝を申し上げます。皆様のご協力で大懇親会全体を通してよい評価をいただいたことに大変感謝をいたしております。

大懇親会で重要な要素である会場の決定が遅れたため、すべての決定が遅れました。しかし会場内設営、会場外設営のレイアウトが決まってからは、3つの部会に分かれ連携をしながらスムーズに企画ができました。

飲食部会では、物産展部会と連携し、出展者、食品を決め、日本全国から来られたYEGメンバーに岡山の美味しいものを沢山食べていただこうと、岡山県内の名産32品、約17,000食を用意しました。会場内での調理が不可能なため、野外屋台ブースを設置して調理を行いました。どのように配膳するか、メンバーが連携して取り組んで様々な課題を解決していきました。テーブルセッティングには特に力を入れ、目で見て満足いくようなウェルカムセッティングを行いました。

ステージ部会では、事前打合せを2回、リハーサル前の音響・照明のチェックを行い、笑いと感動のエンターテイメントで最高のおもてなしを…と感情を揺さぶる“静”と“動”のコントラストで次々と変わるメリハリのある宴を演出しました。メンバーが手分けをして、いろいろな提案をし、試行錯誤したことにより、すばらしい演出ができました。日本のメンバーにも最後まで楽しんでいただけたと思います。

設営部会においては、担当部会関係なく、委員会メンバー全員で3日前から会場に入り会場準備を行いました。岡山YEGの各部会からも多くのメンバーが準備にご協力いただき、前日には、すべての準備が終了いたしました。岡山YEGの連携、そして成功させようとメンバーみんなが感じている瞬間だと思いました。

設営部会で一番の課題は、大懇親会当日の運営、終了後の片付け、清掃、式典スタイルへの変更でした。県連会議に参加させていただき皆様と協議をして、様々な課題について協議いたしました。その結果、時間規制のある中、多くのスタッフが必要であり、事前に岡山県連にボランティア要請をした結果、各単会が分科会で忙しい中、240名のメンバーが集まってくださいました。他団体である岡山県商工会青年部連合会からも90名と多くの方にご協力いただき、スムーズな運営ができました。また岡山YEGをご卒業した先輩方にもお手伝いいただき、終了後約一時間半ですべての工程が終了いたしました。

皆様のご協力のおかげで成功に繋がったのだと感謝しております。ありがとうございました。

#### 改善点・反省点

反省点は、大懇親会中でありながら会場外での飲食喫煙などのゴミが設営場所よりも広範囲に広がっていたことです。注意と清掃をするスタッフは準備していましたが、予想を超える数の喫煙場所以外での喫煙、ポイ捨てなどが多く見られました。さらにスタッフの数を増やし警備も増やせばよかったのかと感じました。

温かい食事を用意していたのですが、配膳などの指示がうまく行われておらず、鍋物・汁物が少し残ったのが残念です。大会2ヶ月前になってからの決定事項が多くありましたが、もう1ヶ月早く決まっていれば、改善できたのではないかと感じました。



## 部会報告





## 部会報告

### 前泊者懇親会部会

【平成28年2月18日(木)】

部会長名 藤坂 浩匡（所属単会:岡山YEG）

実施場所 ホテルグランヴィア岡山

参加人数 395名

#### 部会長所見 1 全国大会における前泊者懇親会とは

一年間、日本YEGに出向された方へのねぎらいの場であり、次年度の出向者へ繋げていく場です。歴代岡山YEGの先輩から教えていただき、引き継がれてきた意識です。

そして、全国大会初日に行われる懇親会です。大会の入口となる前泊者懇親会の成功がなければ本大会の成功はないと考え取り組んできました。

そして、いかに岡山をアピールするか、またアピールしたことをいかに発信していただくかは、組み立て方・運営の仕方にかかっています。

懇親会の内容については、岡山YEGの今までの歴史の中の経験から発信できる形があったので年度初めに内容を決めさせていただきました。

そしてテーマを「岡山の食と祭りと一体感」としました。これこそが成功の鍵となると考えました。

#### 2 司会者の選考

司会者は、株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の岡山住みます芸人「江西あきよし」さんをお願いしました。

岡山の地で開催される大会ですから、岡山で活動してがんばっている方にこだわり、そして当日だけ来て司会をしていただくスタイルではなく、当日に向けて幾度となくメンバーと打合せをして交流ができる方にこだわりました。まずは会を運営するメンバー全員が一体感を持つことが必要と考えました。

会の始まりには特別なアトラクションを入れず、芸人らしい登場から会場の皆様を引き付けることに成功しました。

しかし、参加者の方々のパワーに圧倒され、ネタコーナーでなかなか参加者を引きつけることができませんでした。司会者の江西あきよしさん自身も「もっとできていると思っていました」とかなり反省をしていました。

ざわつく会場の中でも嬉しかったことがありました。仲田直前会長が椅子を壇上前に移動してネタをしっかりと聞いてくださいました。時には司会者に酌をする場面もありました。

#### 3 食事について

今回の懇親会はホテルでの開催でした。食事はホテルに任せての運営になります。

しかしながら、全てを任せるわけにはいきません。全国を飛び回って活躍された出向者の方々に心の底から喜んでいただける料理を提供するために、まず食材を岡山産にこだわりました。

部会で幾度となく試食会を開催し、食材や調理内容などいろいろな意見を出し合いました。ホテル側の関係者には、大変無礼で失礼な意見も言わせていただきました。この誌面をお借りしてお詫びを申し上げます。おかげさまをもちまして、部会として納得のできる料理を提供することができたと思います。

#### 4 アトラクションについて

会が盛り上がっている中でのアトラクションは、内容・見せ方でよくもなれば悪くもなります。終焉に向けて会場全体の参加者の方々を一体にするためには、企画当初から「うらじゃ」しかないと考えていました。アトラクションの初めは「岡山ってこんな所」と題して江西あきよしさんのネタでスタートしました。



## 部会報告

まずは岡山を知っていただきたい、そこからうらじゃ踊りへ繋げていく構成としました。しかし、会場の盛り上げのため、なかなか聴いていただけなかったことは反省点としてあげられます。

### 5 うらじゃ踊り

参加者の方々にうらじゃ踊りを是非見ていただきたい、体感していただきたい、そして毎年8月第一週の土日にうらじゃ祭りを見に岡山へ来ていただきたい。そんな思いもありました。

お越しいただいた踊り連は『全員集合』と『葉月』です。

『全員集合』は岡山YEGから誕生したうらじゃ連です。岡山YEGが企画する会で全員集合連は外せません。全員集合連があったからこそ企画されたアトラクションです。

本来、全員集合連は60余名のメンバーがいます。メンバーの半分近くが子供たちですが、懇親会の開催が夜でありお酒を飲む宴席であるため、子供達の出演を断念せざるを得ませんでした。出演していただいた全員集合連の方々に、本来の盛り上げのできないメンバー構成になってしまったこと、とても残念で申し訳ないと反省しております。限られたメンバーで最高のパフォーマンスを披露していただけたと感謝しています。

『葉月』へ参加を依頼したのは平成27年のうらじゃ祭りが終わってからでした。企画当初からお願いすることは決めていました。それは過去に2度の最優秀賞に当たる“誉”を受賞していたからです。しかし、全国の方々に今現在の最高のうらじゃ踊りを見ていただきたいという思いから、8月のうらじゃ祭りの結果を待つことにしました。願いは葉月連の“誉”受賞でした。結果、葉月連は見事に“誉”を受賞し、我々の期待に応えてくださいました。“誉”受賞3回の実力を持つ、誰もが納得する踊り連の選考になりました。そんな思いがここにあることなど葉月連の方々は微塵も知らない中で依頼をさせていただきました。本来、葉月連は100名超えの大所帯の踊り連です。今回は会場の都合もあり、32名の選抜メンバーに絞っていただきました。しかしながら圧倒的な迫力のある最高のパフォーマンスを披露してくれました。是非、うらじゃ祭りでフルメンバーでの葉月連を見に岡山へ来ていただきたいと思います。会場内は葉月連の見事な演舞に釘づけとなり、その後の総踊り成功の鍵となりました。



### 6 総踊り

アトラクションの最大の見せ場で最大の難所の総踊りについては前日まで議論されました。

総踊りで参加者が踊らないと会がしらけてしまいます。事故があってもいけません。しかし、全員で総踊りをすれば懇親会は大成功に収めることができます。

総踊り用に会場のレイアウトを変える方法について、部会メンバーからいろいろな意見をいただき、企画当初から考えていた大幅なレイアウト変更をやめ、椅子を重ねてしまうだけの設営にしました。歓談中の方々に無理やりアトラクションに参加していただくことにとっても心苦しく思いましたが、参加していただければきっとわかっただけだと信じて皆様のご協力をお願いしました。おかげさまで会場内の皆様で総踊りを行うことができ、我々岡山人の自慢の祭り『うらじゃ踊り』を体感していただくことができました。



### 7 御礼

全国大会初日の前泊者懇親会について部会として最高のおもてなしができたと思います。

これも他の部会の方々のご協力、参加者を総踊りへ巻き込むために踊っていただいた岡山YEGのメンバーの方々、司会者、踊り連の皆様、そして前泊者懇親会部会メンバーの皆様のおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。

### 改善点・反省点

とにかく全てが予定通りにいきませんでした。まずは着座が予定通りにならず、15分押しのスタートとなりました。これは、出向者の方々100名以上が諸会議参加前に受付をしていないことが原因でした。急遽、受付を前泊者懇親会会場へ移動して対応しましたが、あまりにも未受付の方が多く、会のスタートが遅れました。事前に“まず初めに受付をすること”を促す必要があったと反省しています。

進行の中では、すべての挨拶の時間が超過しました。これは想定内で歓談時間や進行の変更で調整をすることができました。リアルタイムにいろいろなことを把握でき、臨機応変に対応できたのはインカムを使用したためだと思います。ただ、8台のインカムでは運営側の人数には不十分で10台以上は必要であったと感じています。

## 部会報告

### ナビゲーション部会

【平成28年2月19日(金)～2月20日(土)】

部会長名 狩谷 浩範（所属単会:岡山YEG）

実施場所 JR岡山駅、ママカリフォーラム、ジップアリーナ岡山、JR岡山駅南駐車場

#### 部会長所見 1 大会PRビデオ

今までの全国大会のPRビデオとは違い、女性（PR大使）を起用し、観光案内のイメージでPRビデオを制作いたしました。PR大使のかわいらしい、柔らかな雰囲気のおかげで、PRビデオの全体的なイメージもよくなり、大変よいPRビデオができたと思います。PR大使の影響もあり、キャラバンでの皆様の反応がよかったようで、実際、そのような意見をお聞きいたしました。

全国大会当日もPR大使が登場することにより、全国大会に華を添えていただきました。

#### 2 大会ホームページ

今までの全国大会ホームページを研究し、いろいろと議論しました。見る側の視点と運営側の視点から議論を重ね、吉備の国おかやま大会のPRを第一に考えつつ、また見やすさ・ボタンの押しやすさ・バランス・コンテンツなど大変よくできたと思っております。そのおかげか、事務局への問い合わせが今までの全国大会に比べて少なかったと聞いております。最終までいろいろと修正があり、担当の皆様には大変お世話になりました。

#### 3 大会登録システム

過去の全国大会で採用してきた登録システムとは異なり、吉備の国岡山大会では、JTBのアマリスを採用いたしました。登録システムに宿泊を連動させることにより、請求業務をJTBにいただくことで、事務局の負担がかなり軽減されたと思います。今回いろいろとご意見をいただきましたが、結果としてアマリスを採用してよかったと思います。

しかしながら、カスタマイズに関してはすごく苦労いたしました。入力業務を行う事務局の立場と、管理する立場とでいろいろと意見を出し合い、議論することで思ったよりも完成に時間がかかりました。JTBに任せきりにしていたら失敗していたと思いますが、JTB担当者と密に連携し、内部で議論した結果、よいものになりました。また、登録を過去大会よりも早めに開始したことにより、登録数を把握しやすかったと思います。また、岡山県連事務局、担当者を対象としたアマリスの使い方についてのセミナーを開催し、各担当レベルで分科会などの登録者数を確認できるようにしました。

#### 4 大会Facebookページ

大会Facebookページを立ち上げるにあたって、いろいろご意見をいただきました。Facebookを立ち上げてからは、Facebook担当の皆様がこまめに投稿をしてくださり、またキャラバン、分科会担当など、皆様のご協力により“いいね”の数がすごく増えました。また、大会開始までのカウントダウンを岡山YEGメンバー、県連の皆様と一緒にできたことがうれしく思います。そして、大会当日、投稿担当者の皆様には、それぞれの職務で忙しい中、投稿していただきありがとうございました。今後の全国大会を繋げていくためにも大会Facebookページの落しどころは検討したいと思います。

#### 5 全国大会当日の誘導（シャトルバス・警備も含む）

##### ①岡山駅誘導（岡山駅南駐車場含む）

在来線、新幹線などでお越しになられた全国の皆様をママカリフォーラム及びシャトルバスへ誘導し、またシャトルバスを岡山岡山駅からジップアリーナ岡山へ、ジップアリーナ岡山から岡山駅へ運行いたしました。おもてなし感を出すために大きな声と笑顔で、お越しになられた方への誘導に心掛けました。また、ピンクジャンパーを着用することにより、気軽に声を掛けていただき、対応できたと思います。逆に、お越しになられた方々より、温かい言葉を掛けていただくことにより、励みになりました。誘導に関しては十分に計画をしていたので、トラブルもなくスムーズに運営できておりました。お越しになられた方から誘導とは別の質問（有名なお店を教えてくださいなど）も多くありました。20日のみ岡山駅南駐車場からジップアリーナ岡山へシャトルバスを運行いたしました。岡山駅周辺の宿泊客が少なかったため利用者は少なかったです。

##### ②ママカリフォーラム（19日）

分科会受付・バス誘導、日本YEG諸会議向けシャトルバス誘導、単会バス誘導をさせていただきました。事前に準備をしっかりとしていたため、スムーズに対応することができました。しかしながら、警備員の確認ミスで2名来なかったため対応に困りました。思ったよりも単会バスが多く来られましたが、重なることもあまりなかったためスムーズに対応できました。日本YEG諸会議後の対応が予想よりも参加者が多かったため、現場判断の臨機応変な対応になりました。運べる人数に限りがあるため、ママカリフォーラム内に準備したシャトルバスと岡山駅から運行しているシャトルバスへの誘導とに分けて案内しましたが、特に問題も無く誘導できたと思います。



## 部会報告

準備をされていてよかった点は、自家用車で来られた方のために手作りマップを作成しておりましたので、お越しになられた方にも喜ばれた点です。また、昼食場所についてもお問い合わせが多くありましたが、丁寧な対応ができたと思います。インフルエンザで急遽欠員が出てしまい、ぎりぎりの人員配置になっていたため、交代で休憩を取ることが難しかったということもありました。

### ③ジップアリーナ岡山 (19日)

全国大会準備に対する警備、大懇親会前後のシャトルバス・タクシーの受入・誘導・送り出し、単会バスの受入・誘導・送り出し、総合グラウンド内の誘導・警備などを行いました。大懇親会前にシャトルバスが入って来た時には少し戸惑いがありましたが、その後はスムーズに受入ができたと思います。タクシー・自家用車に関しては、警備の人数の原因もありますが、道路での降車が目立ち、通行の妨げになり、ジップアリーナ岡山管理者からも注意を受けました。また、予約されてない単会バスの誘導、県連バスの対応で少し臨機応変な対応を強いられたことがありました。大懇親会後の誘導に関しては、シャトルバスを岡山駅方面と中央町方面に分けたことにより、スムーズに誘導できたと思います。また、予想よりも早く送り出しができて大変よかったと思います。多少のトラブルはありましたが、大きなトラブルがなく終わることができてよかったと思います。

### (20日)

式典前・記念事業後のシャトルバス・タクシーへの誘導・送り出し、単会バスの受入・誘導・送り出し、総合グラウンド内の誘導・警備などを行いました。

晴れの国なのに一日雨天だったのが残念でした。19日の反省を生かし、道路縁の誘導員の数をかなり増やしました。式典前の道路でのタクシーの降車を徹底的に注意しましたので、19日に比べると激減し、スムーズに道路が流れておりました。来賓の駐車場の地面が土でしたので、来賓の皆様になんご迷惑をお掛けしました。多少の混乱はありましたが、大きな問題もなく式典前後は終わることができました。単会バスも19日よりスムーズに降車されていたように思います。あまり想定しておりませんでしたが、シャトルバスの運行までにお帰りになれる方がかなりいたように思います。来賓の皆様がほぼお帰りになれてからシャトルバス乗り場までの動線を変更し、さらにスムーズに運行することができました。全国の皆様がお帰りになれるまでシャトルバス・タクシーともにスムーズに運行することができました。

両日とも他部会から応援をたくさんいただきましたこと本当に感謝いたします。人間的にぎりぎりであったため、なかなか休憩も取ることができないメンバーもたくさんおられたと思います。寒い中、愚痴もあまり言わず、最終まで誘導していただき本当にありがとうございました。

## 改善点・反省点

### 1 大会登録システム

登録を締め切った後の対応をどのようにするか想定できていませんでした。入力業務・入力された方の事務手数料をどのように対応するべきか、などです。

### 2 大会Facebookページ

特にありませんが、大会終了後の落しどころを検討したいと思います。岩見沢YEGに大会Facebookページをそのまま引き継ぎたいと思います。

### 3 全国大会当日の誘導

#### ①岡山駅

- ・岡山の有名な食べ物・店を教えてほしいという問い合わせが多かったので、ガイドブックなどを持っておくか、下調べをしておくのもよかったと思います。
- ・岡山駅南駐車場については、シャトルバスの数が乗車される数よりも多かったと思います。

#### ②ママカリフォーラム

- ・当日インフルエンザで一人欠員が出ました。ぎりぎりの人員配置になっていたため、休憩がほとんど取れませんでした。人員数を考慮しておくべきだったと思います。
- ・各分科会との綿密な打合せができておらず、受入の時点で少々戸惑った対応になってしまいました。

#### ③ジップアリーナ岡山

- ・単会バスが事前にお願ひしてあったにも関わらず、無理やり第三駐車場から入ってきて、シャトルバスや来賓・タクシーの走行を妨げたことがありました。
- ・当日に来ないメンバーがいました。
- ・雨天を想定して来賓の駐車場とタクシー乗り場を入れ替えることも視野に入れるべきだったと思います。
- ・各単会バスへの連絡が行き届いておらず、当日駐車場への誘導がスムーズにできないケースがありました。
- ・当日ぎりぎりの人員配置だったため、特に応援で入っていただいた皆様に休憩を十分に取っていただくことができませんでした。





## 部会報告

### おもてなし部会

【平成28年2月18日(木)～2月19日(金)】

部会長名 木下 聖士（所属単会:岡山YEG）

実施場所 ジップアリーナ岡山、ホテルグランヴィア岡山、下田町公園

参加人数 5,974名

#### 部会長所見

私自身がYEGの全国大会に行くときに何を楽しみにして行くかという、やはり大懇親会であり、その後の夜の繁華街でした。今までに思い出に残る全国大会は、夜が楽しかった全国大会です。その部分がその県のイメージにそのままなったと言っても過言ではありません。

そういったことをふまえると、我々おもてなし部会のやろうとしていたことは、岡山にとっても非常に大切な職務であった気がします。

おもてなし部会の真の目的は「岡山の夜の街の活性化」でした。これまで岡山は通過県であり、出張で来た人も岡山に泊まらないので飲みにも出ないというのが通例でした。5,974人も人が岡山に来る今回の大会は、岡山を知っていただける絶好のチャンスでした。

大懇親会で300名のアテンダントを集めたのも、岡山にこれだけの店があるのかという認識を持ってもらうインパクトにもなったと思いますし、店舗からのアテンダントにとってもいい刺激になり、新たな顧客獲得のツールになったと思います。

この度初めて岡山に来られたYEGメンバーが岡山をどう感じて帰っていただけたか、また岡山に来たいと思っていたかはそのそれぞれですが、「岡山の夜の街の活性化」に一役買ったのは間違いないと思います。



#### 1 おもてなしマップ

予算の都合上、A2版両面サイズとなってしまいましたが、ご協力いただいた110店舗のアテンダントの店を紹介させていただいているのと、繁華街の夜に開店している食事処、BARなどを掲載させていただいております。再編集後、増版させていただきまして今後も使えるようにします。

#### 2 前泊者懇親会アテンダント

13店舗、約36名のアテンダントに来ていただき、当日は日本YEGの委員会などで2次会に利用していただきました。アテンダントにとっては2夜連続となるので大変申し訳なかったのですが、お客さんで2日続けて同じ店舗に来ていただいた方もおられたようなので、店舗にとってのメリットもありました。

#### 3 大懇親会アテンダント

最終的に110店舗 316名のアテンダントに来ていただきました。大懇親会での316名による挨拶は圧巻となり、吉備の国おかやま大会通じてのハイライトの1つとして記憶していただけたかと思います。

これだけのアテンダントを集めるのに部会として相当な苦労がありました。元々予算の関係上、ノーギャラということもあり、店舗へ身銭でお願いに回った際に、断られた店舗には悪く言われ、反応の悪い店舗には何度も足を運び、とにかくお金を使いました。その後、実行委員長が全決定店舗に挨拶に回られました。終わってみればギャラを払っていた方が相当安上がりでした。

#### 4 おもてなしブース

下田町公園にナイトブースを設営しました。飲食店舗4軒と振舞い酒をしました。ブースには固定電話を引き、ナイトマップに電話番号を載せて2次会店舗の斡旋を行いました。夕方から相当数の電話が鳴り止まなかったと聞いております。

## 部会報告

協力いただいた110店舗の名前をテントの壁一面に張り、ブース斡旋できた店舗に選挙のようにバラの花を付けていきました。最終全110店舗にバラが付き、終了しました。

当日のクレームはほとんどありませんでした。

### 5 最後に

後日協力店舗へのお礼回りを行っているのですが、店舗によっての当日の客数にばらつきがあるものの、いい経験をしたという言葉が大半なのと、忙しかった店舗ではひっきりなしでYEGの客が来てくれていたというような話を聞くと、やったかいがあったと痛感します。

そして、以前の大会でも夜の街でのトラブルなどによりその街のイメージが下がったという話も聞いていたのでかなり気を配っていたのですが、大したクレームもなく、岡山のイメージを下げるようなことはなかったかと思われます。

大切なのは、全国大会が終わりではなく、各店舗は全国で知り合えたYEGメンバーをいかにしてこれからの顧客に繋げるかです。岡山YEGは、このご縁で知り合えた岡山YEGのために無償で協力してくれた店舗やアテンダントの皆さんにお返しをしていき、それを機に「岡山の夜の街の活性化」に繋げていくことです。

その達成が、おもてなし部会の使命の終了です。



## 部会報告

### 交流部会

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 深美 隆（所属単会:岡山YEG）

実施場所 ANAクラウンプラザホテル岡山

参加人数 59名（登録数82名（本登録66名、OBサロンのみ登録16名））

#### 部会長所見 ① OBサロンの流れ

OBサロンは岡山駅西口にあるANAクラウンプラザホテル岡山19F「宙（そら）」にて開催いたしました。OBサロンの設えに関しては、過去の大会を参考にさせていただこうと思いましたが、主管地によって、状況、やり方が様々なこと、また資料や写真なども少なく、どのような開催が適切なのか頭を悩ませました。当初は、開催時間を3時間と長く設定した関係で、空港のラウンジをイメージして、岡山の美味しい料理と岡山の地酒（日本酒・ビール・焼酎・ワイン）を用意してお迎えし、いつ来られいつ退席されてもいいタイムスケジュールでの開催がよいのではないかと考えておりました。しかし、それから何度も岡山YEGのOBの先輩方と話し合いを重ねるうちに、おもてなしの気持ちは大切にすけれど、ガラガラとした進行ではなく、しっかりとした仕切りを行って欲しいとのご意見をいただき、例会懇親会をイメージした定刻に始まり定刻に終わる進行に変更いたしました。

開会后、吉備の国おかやま大会のPRビデオをご覧くださいました。現役メンバーは何度も見っていますが、OBの先輩方は初めてご覧になれる方も多く、喜んでいただきました。PRビデオの後は、向井大会副会長より諸先輩方へのお礼と我々の意気込みなどをお話いただきました。その後、岡山YEG第2代会長 近藤典博先輩より、ご挨拶と乾杯をいただきました。しばし歓談後、岩見沢YEG、加古川YEG、玉野YEGの3単会の皆様に平成28年度の全国大会、会長研修会、中国ブロック大会のPRをしていただきました。事前に3単会の皆様と打合せをさせていただいたので、OBの先輩方にしっかりとPRしていただけたと思っております。

そしてOBサロンでは初めての企画と思われませんが、OBの先輩方による『OBサロンあり方検討会』を40分間実施しました。冒頭でも書きましたが、資料もなく何が適切なのか現役メンバーが頭を悩ませているので、OBが考えるOBサロンについて語っていただきました。岡山YEG第8代会長 井上和宣先輩の進行により、非常に白熱した議論をしていただきました。議論のまとめについては岩見沢大会に引き継ぎます。

その後、隣の会場にて行われていた物産展のPRを杉本部会長にいただき、しばし歓談後、西大寺YEG第3代会長 岡田伸政先輩より閉会のご挨拶をいただき、無事閉会いたしました。

大きな問題点もなく無事に終えることができましたのは、ご参加いただきました多くの諸先輩方のご協力と設営側の現役メンバーの頑張りのおかげです。

皆様大変お世話になり、本当にありがとうございました。

#### ② うまくいったこと

##### ○登録者数

過去の大会を鑑みて50名参加で計画していましたが、大幅増の82名にご登録いただきました。要因としては、岡山YEGの先輩方と早い段階から打合せと参加のお願いをしていたので、岡山YEGOBの先輩方だけで38名もご登録いただきました。また、本登録無しでのOBサロンのみの登録も参加しやすく非常によかったとのご意見を多数いただきました。

##### ○地酒試飲コーナー

ホテルのお酒もできるだけ岡山のお酒をお願いしましたが、より知っていただくためにあえて試飲コーナーを設け、岡山の日本酒・ビール・焼酎・ワインを説明付きでご提供いたしました。背景が見えると味も美味くなる!との言葉もいただき、大盛況でした。



## 部会報告

### ○全国大会などPRタイム

我々も京都大会でさせていただきましたが、次年度全国大会開催地の方がPRされると盛り上がります。今回はPRビデオを流した後にPRしていただく流れで行いました。全国大会(岩見沢YEG)→会長研修会(加古川YEG)→中国ブロック大会(玉野YEG)と30分の枠を取っていて、長くて先輩方が飽きられないか少々心配もしましたが、逆に、3単会の熱い想いを聞くことができ、とてもよかったとのご意見を多数いただきました。

### ○OBサロンあり方検討会

当初、OBサロンには旅行気分でお越しになられるのであれば、難しい話は逆効果ではないかとの意見もありましたが、いざ始まってみると熱気に包まれたすばらしい検討会になりました。真剣に話し合う場があってもよいと感じました。

### 改善点・反省点

概ね計画通りでありましたが、もっと先輩方の求めているOBサロンとは何かを考えて計画を立てるとよりよかったのではないかと考えております。OBサロンあり方検討会でいただいたご意見は岩見沢大会へ引き継ぎさせていただきます。





## 部会報告

### 物産展部会

【平成28年2月19日(金)～2月20日(土)】

部 会 長 名 杉本 宏（所属単会:岡山YEG）

実 施 場 所 ママカリフォーラム、ジップアリーナ岡山

参 加 人 数 5,974名

#### 部会長所見 1 2月19日

ママカリフォーラムにて、諸会議及び分科会参加者に対して物産展を開催しました。  
参加者が限られていること、岡山駅隣接であるため飲食店が付近に多数あることなどから飲食ブースは2店舗と必要最小限とし、物販ブースを多めにしました。  
また、分科会の出発前や総会の開会前・閉会後に利用者が集中する恐れがあり、そこへ向けた呼び込みを徹底した結果、飲食ブースはともに早々に完売となり、物販ブースも翌日への勢いをつけることができました。

#### 2 2月20日

ジップアリーナ岡山にて、記念式典及び記念講演などの主要行事の開催に並行して開催しました。  
前日の大懇親会の飲食調理ブースの設えをそのまま活用し、ブースで囲まれた回廊タイプとし、それらをテントで覆う形をとったため、会場から屋外へ出なくても物産展を楽しめる形にしました。当日雨天となったため、結果として非常に多くの参加者を集めることができ、雨に濡れることなく物産展を楽しんでいただくことができました。  
また、物販ブースはアリーナ屋内の2階に設置しました。通常の動線とは異なるため1階ロビー近辺にて2階への呼び込みを集中的に実施した結果、かなりの動員を得ることができ、長蛇の列となるブースも多々ありました。  
今回、大会登録証に物産展用500円券を付けました。過去の大会を見てもこのことを積極的にPRされていることはなく、「あることを知らなかった」「あることは知っていたが面倒なので使わなかった」などの声をよく耳にしていました。そのため、今回は常時500円券の使用を促すPRを行い、各ブース出店者にも利用を促した結果、3,800名を超える参加者にご利用いただきました。  
また、各分科会バスの移動車中やOBサロンでのPRなど様々な場所で500円券のことを踏まえた告知をしたことも効果的でした。  
下記反省点はあったものの、事故やトラブルなども無く総じて大成功でした。出店者、関係者、部会メンバーなど関係する全ての皆様に感謝します。

#### 改善点・反省点

- ・上記のような準屋内的設えをした結果、閉鎖構造となり、煙が充満し参加者に迷惑をかける結果となってしまいました。また、その煙が扉開閉時アリーナ内へ入り込んで煙感知器を作動させる結果となり、事前対策が必要であったと感じます。
- ・同じく閉鎖構造としたため、一部ブース前の行列が動線を遮る結果となり渋滞を引き起こしてしまいました。これも通路スペースを広げるなど事前検討が必要でした。
- ・日本YEG関係の募集窓口が不明確であり、進捗を確認するのに苦労しました。これも大会HPでの募集などに一元化し、締め切りを明確にする必要があったと感じます。また、その後の出店者との連絡がつきにくいことが多く、YEGメンバーとしての協力をお願いしたいと思います。
- ・物産展出店関係者のものと思われる不燃ごみ(ワインや日本酒などの瓶、コンロなど)が残されていました。事前に各自のごみは持ち帰りをお願いしていただけに残念でした。

## 部会報告



## 部会報告

### エクスカーション部会

【平成28年2月20日(土)】

部会長名 花島 功一（所属単会:岡山YEG）

実施場所 西大寺観音院付近

参加人数 104名

#### 部会長所見

全国大会のメインが2月20日、2月の第3土曜日にあたっていたため、エクスカーションで西大寺会場に参加する、ということが最初から決まっていました。また、私(部会長)を含めメンバー数人が地元西大寺出身であり、地元の方の協力を得られれば、自分たちだけで100%設営するよりもよりよい形でエクスカーションができるのではないかと考え、まず地元の方との交渉を進めるところから始めました。

過去に地元以外の団体が西大寺会場へ参加した際、ルールなどが守れないなどの理由から地元の方からはあまり評判がよくなく、当初地元の方は、あまり協力的ではありませんでした。しかし、我々の時間をかけての説得により、徐々に考えを変えていただき最終的には全面的な協力をいただけました。結果、観音院から大変近い場所に待機場所を取らせていただき、テントや参加者の暖がとれるお風呂などにも入れていただけるという形で参加者のお迎えをすることができました。

そういった状況が見えてから部会が本格的にスタートしたため、非常に遅いスタートでした。(それまでの間はPRパネルやカードを作成し、キャラバン先のみならず、岡山YEG内や岡山県青連でもPRをしました)しかし、メンバーは焦らず各セクションで細かい打合せを重ね、問題点を全体会議にもってきて調整するという形がとれたため、効率よく短時間で設営準備を進めることができました。また、当日においても、各セクション問題が生じた場合に各セクションリーダーを中心に問題対処をしてきたため、大きなトラブルなくスケジュール通りにこなせました。

当日は、懇親会の後、「参加コース」と「見学コース」に分かれました。(少年はだか、女性はだかもプログラムにはありましたが参加者がいませんでした)「参加コース」では県外からの参加者、岡山県青連からの参加者、岡山YEGからの参加者がおり、いろいろな立場での参加となりました。しかし、参加者は懇親会からまつりを楽しんでおり、予定より一時間も早く全員「はだか」になったため、予定していなかった地押し(デモンストレーションで周辺を走る)を行ったあと、参加者一体となって観音院に乗り込んでいき、宝木投下に参加しました。また、「見学コース」では観音院の中に入る拝観を体験した後、宝木投下を観覧席で楽しみました。どちらのコースにおいてもまつりを楽しみに参加された方が多く、ルールを守られる方が多かったため、当日は地元の方と一体になってまつりを楽しめる最高の形でエクスカーションをすることができました。

#### 改善点・反省点

「本当のおもてなしは何か?」様々な打合せの場面で問題が起きた時、メンバーみんながこの一言に妥協しなかったことが形につながったと思います。また、メンバーみんなが一所懸命取り組む姿勢を崩さなかったことが、人を呼ぶには日程的にかなり不利だったエクスカーションに人を呼び、地元の方と一体になってまつりを盛り上げる形につながったと思います。

地元の方との接点をより多く持ち、いろいろな話をする事ができれば、もっとよいアドバイスをいただけたら、アイデアを出せたかもしれません。また、地元の方との関係作りや、組織作りが遅くなったところもあったので、早くから取り組んでいればよりすばらしいおもてなしができたかもしれません。





## 部会報告





## 部会報告

### 広報渉外部会

【平成27年2月19日(木)～平成28年2月20日(土)】

**部会長名** 西本 真司（所属単会:岡山YEG）

**実施場所** 全国各地

**部会長所見** 広報渉外部会に与えられた職務分掌は、「効率的な大会PRの実践と広報活動、予算を抑えた新たなキャラバン活動の企画実践」でした。

前年度一年間をかけて大会会長、担当委員会メンバーと共に岡山県連各単会を訪問、大会をPRし、運営のお手伝いをするという感覚から岡山県連として皆で一緒にやるという言葉を多く聞き出した状態からの本年度スタートでした。

広報渉外部会として、全国各地全ての単会にお伺いし、全国大会PRと各地メンバーとの交流により全国大会をよりよいものにしたいと考えておりましたが、現実的には難しく、各単会会長様宛に大会会長から岡山県連の想いを込めた手紙を送らせていただきました。

PRキャラバンは、さらに県連一丸となって取り組むことを意識づけ、最後に県連メンバー皆で感動を共有できるように分科会PR中心でのキャラバンを計画しました。PR後の訪問先メンバーとの交流も充実したものとなりましたが、同時に移動時間など県内単会メンバーとの交流も大変意味があったと思います。

全国YEGメンバーの皆様のご協力のおかげで、目標としていた参加人数を大幅に超える参加をいただきました。訪問しやすい交通面での地域性もあると思いますが、皆で頑張った結果だと素直に喜んでおります。多くの仲間と同じ大会を共有できたことに感謝いたします。皆様本当に有難うございました。

#### 1 PRキャラバン

ブロック大会開催までにPR先、訪問するメンバー（岡山YEGと県内各単会で4名以上ずつ）で行うことを決め、PRを開始しました。

#### 2 ブロック大会

全てのブロック大会に参加することで、全てのYEGメンバーに吉備の国おかやま大会を知ってもらう努力をしました。

#### 3 単会訪問PR

会員数・過去大会参加者数・訪問先単会までの移動時間、交通費・過去の大会開催実績・今後の大会開催予定などをベースに訪問先を決定し、大会参加者増員と同時に分科会参加者増員に取り組みました。

#### 4 その他急遽PRが決まった県連大会・周年など

案内をいただいたところへ訪問しPRをさせていただき、おかやま大会への参加、分科会への参加を呼び掛けさせていただきました。

#### 5 日本YEG出向者を中心としたPR活動

県内メンバーには一番見えにくい部分ではありますが、年間を通じ全国メンバーへの大会PRをしていただきました。

## 部会報告



## 部会報告

### 大会事業部会(記念事業)

【平成28年2月20日(土)】

部会長名 佐藤 一平(所属単会:岡山YEG)

実施場所 ジップアリーナ岡山

参加人数 5,974名

部会長所見 吉備の国おかやま大会らしい内容と演出で、心に残る卒業予定者が主役の卒業式を行いました。  
(出演アーティスト:中村あゆみ)

#### 【実施内容】

ゲスト紹介なしのサプライズなオープニング  
1曲目:翼の折れたエンジェル ※トークを交えて。  
2曲目:悲しみセンチメンション  
3曲目:アジアの海賊  
出演者がステージから一旦退場。  
ステージ両サイドスクリーンに卒業予定者のお名前を県連別にロール表示。  
卒業予定者をステージ前へ呼び込み、出演アーティスト再登場。  
4曲目:僕が僕であるために ※卒業予定者、参加者全員で合唱。  
ラスト曲:BROTHER  
卒業予定者が会場センターに敷かれたピンクカーペット上を通り退場。  
会場後方で祝福の紙ふぶきを2回発射。

- ・時間の関係でステージへの登壇は無しとしたが、卒業予定者を主役にする記念事業ができました。
- ・卒業予定者のお名前をロール表示、アーティストとの合唱、ピンクカーペット、紙ふぶきでの演出で多くのご卒業予定者、また参加者からよかったとの声をいただきました。
- ・こちらの要望をほぼ聞いてくれるアーティストを選定できよかったと思います。(中村あゆみさん、ありがとう!)

#### 改善点・反省点

- ・アーティストの選定をギリギリまで引っ張ったので準備の時間が非常にタイトでした。
- ・登録システムより所属単会、お名前、卒業予定者の情報が引っ張れたので、スクリーンへの表示を行いました。登録する側のミスで何名か情報に誤りがありました。※登録前にその旨お知らせする必要があったのかもしれません。
- ・想定以上の方が参加してくださり、ステージ前のスペースが窮屈でした。
- ・紙ふぶきの片付け作業をもう少し詰めておくべきでした。





## 部会報告

### 大会事業部会(第1分科会)

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 佐藤 一平 (所属単会:岡山YEG)  
 実施場所 旧内山下小学校、岡山後楽園、岡山城  
 参加人数 202名

#### 部会長所見

- ・ハイコー(廃校)を会場として、「地方創生」「ビジネス」「家族」をテーマに基調講演、ワークショップ、プレゼン大会、交流会を実施しました。岡山後楽園と岡山城は19日～21日まで有効の無料入場券を配布し、自由散策としました。会場を廃校の小学校としたため設営に経費がかかりましたが、ホールの様な大きな箱を使用しての会場費と比較すると大差なく、また会場が閑散とした状態にはならなかったのがよかったと思います。
- ・開始時間ギリギリに多くの参加者が受付に来ることを想定し、受付に多くの人員を配置しスムーズに受付から誘導が行えました。
- ・基調講演は、2教室を使用しサテライト会場を設けたことで、メイン会場に先に誘導をかけて満席にし、2教室目に遅れた方などを誘導することで、スムーズな進行ができました。
- ・ワークショップを設けることで、参加者の興味を引きつけ、ただ講演を聞くだけということではなく、岡山の物産や観光をPRしつつ参加者が楽しめる時間を作ることができました。
- ・また、雨天も想定し、会場に後楽園の風景の特大パネルを設置、また教室に机を並べた記念写真コーナーは大盛況で、特大パネルは翌日のメイン会場に移設して多くの方に喜んで使っていただけました。
- ・プレゼン大会もスタッフの誘導により各教室での人数の片寄りもなくバランスよく、3教室同時時間の進行も問題なく行えました。
- ・出張よろず相談も、経営や助成金などの相談を受けていただいた方には大変役に立ったとお声をいただきました。
- ・OLa(おかやまローカルアソシエイト:産学官民農のネットワーク)を立ち上げる他県の方も参加され、また、こういう形態での分科会は初めてで、大変参考になった、楽しかった、参加してよかったとお声もいただきました。
- ・自由散策ではありましたが、参加者に3日間有効の入場券を配布することで、後楽園、岡山城という観光資源に約100名の方に足を運んでいただきました。



#### 改善点・反省点

- ・他団体との窓口が各事務局のためプレゼン大会とワークショップの参加者の取りまとめに時間がかかってしまいました。
- ・また、そのため上手く伝達が参加者に行き届いてないこともあり、直接やり取りができるように段取りを行った方がよかったと感じました。
- ・現地集合としたため、徒歩で来られる方が多く、城下あたりで迷っている方がいると連絡があり、急遽誘導スタッフを配置しました。直接タクシーで来られる方が多いのではという予想であったが、お天気もよく、路面電車や徒歩の方が予想外に多かったです。
- ・基調講演のあと、教室を移動するときに、ほとんどの参加者がワークショップへ流れてしまい、開始時にプレゼン大会の参加者が少ない状態となってしまいました。
- ・旧内山下小学校での事業をメインとしたため、後楽園や岡山城に観光に行きたい参加者が途中退席となり、最後の交流会への参加者が少なくなっていました。
- ・廃校ということで設備については古いのは仕方ありませんが、女子トイレの故障が多くあまりきれいでなかったため、案内など不便を感じました。





## 部会報告

### 第2分科会部会(津山)

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 竹内 道隆（所属単会:津山YEG）

実施場所 津山中央病院陽子線治療センター・津山郷土博物館・  
つやま自然ふしぎ館・津山国際ホテル鶴泉苑・津山観光センター

参加人数 93名

部会長所見

#### 1 準備について

年度当初からプロジェクトを立ち上げ、資金・グルメ・体験・観光・Facebookの5班に分かれ、チーフと各班長を中心に準備を進めてきました。

当初は限られた時間で津山の魅力を伝えるために、津山のシンボルである津山城跡を起点に据えて、前年度の全国大会会場である京都の経験を踏まえ、歩いて移動できる分科会にしようと考えました。しかし、企画の途中で完成間近の津山中央病院陽子線治療センターの見学を特別に承諾いただけたため行程に加えたことから、バスでの移動も必要となり、各班が提案した内容を一から練り直すなど、互いのタイムスケジュールの調整に難儀しました。

結果的には好評であったと思いますし、できるだけスムーズに案内できるよう、メンバー一人一人が自分の役割を考えて行動するよい機会になったと思います。

肉食文化を紹介する昼食に関しては、何度も試食をしてメンバーの意見を聞き、プロにも協力をお願いしてメニューを厳選し、ドリンクの出し方やメニューの説明など試行錯誤し、如何に参加して下さった方に喜んでいただけるおもてなしができるかを分科会当日ぎりぎりまで皆で考えました。また、2月という季節のため、温かい食事をとっていただくことをコンセプトに考え、水や火を使わせていただけるよう無理なお願いを会場のホテルと交渉するのに手間取りました。

また、雨天や積雪にも対応できる分科会づくりを目指して設営の準備をしました。

PRキャラバンにも積極的に参加し、会議や試作、下見など時間をかけて議論を尽くし、大変な苦労がありましたが、準備を通じて多くのメンバーが貴重な経験をし、メンバー同士の絆を一層深めることができたと感じました。

#### 2 当日の運営について

当日は幸いに天候に恵まれ、準備なども順調にできました。受付を分科会の中心地にあたる津山観光センターで行ったため、後の行程をスムーズに進めることができました。

登録キットは、袋を津山市に協賛していただき、中身の洋食にちなんだ桜庵珈琲と銘菓は、メンバーの協力で予算以上の中身の詰まった特徴のあるものが用意できました。

集合場所の岡山から津山まで2時間近くかかるバス車中を利用し、予め制作したPRビデオを見てもらったことで、分科会の予習を兼ねた



## 部会報告

津山のPRがより一層できたと思います。

津山中央病院陽子線治療センター見学では、特別に許可いただいた機械室には一度に大勢入ることができないため、予めシミュレーションし、参加者を4組に分けて登録証に色別のタグをつけ、案内係が4色の色旗を掲げて先導したことで、説明と見学をスムーズに入れ替えて案内することができました。

昼食会では、温かいものを食べていただくために、会場でメンバーが調理や配膳する形式をとったことにより参加者との一体感が出てメンバーもしっかり大きな声で挨拶ができ、ライブ的にもよかったと思います。参加YEGの方からは、すぐお肉が美味しかった、また食べに来たいなどの感想をいただき大変嬉しく、苦勞が報われた思いでした。

観光面では、2ヶ所をフリーで見学していただきましたが、観光班のメンバーは案内や質問に受け答えできるよう、予め勉強した上で当日各所に配置しました。津山城の荘厳さやスカイツリーにも展示されている鍬形蕙斎の江戸一目図屏風、珍獣のはく製など津山が誇るお宝も沢山見ていただき、めったに訪れていただくことができない遠方の県の方にも津山の名所を紹介できました。

### 改善点・反省点

集合場所の岡山での登録者の確認などに不手際があり、気付かないうちに既にバスに乗車された方がいるなど、上手くお出迎えができずご迷惑をおかけしました。最初の津山への到着が遅れたため、全体の予定が遅れてしまいました。もう少し余裕のあるタイムスケジュールを組んでおくべきでした。

集合写真は、時間の都合上3つの組に分かれて写真を撮る予定でしたが、当日参加者の希望で変更し、後で各単会に写真を配るのに写っているのがどちらの方かわからなくなってしまったので、予め確認しておくべきでした。

グルメでは、料理の内容をもう少し深く紹介できる伝え方があったのではないかと、またドリンクのお品書きも用意した方が親切だったなどの反省点があります。また、他会の参加者の目につくところで当会のメンバーがたばこを吸っていたのが気になりました。

全体的には県連から依頼されたテーマを詰め込みすぎて主となる目的はどれであったのか。もう少し、明確な指標をもって一つか二つに絞って企画した方がよかったかもしれません。



## 部会報告

### 第3分科会部会(玉島)

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 原田 信治（所属単会:玉島YEG）

実施場所 円通寺・備後屋・菊池酒造株式会社・株式会社豊島屋・  
玉島味噌醤油合資会社

参加人数 67名

部会長所見

第3分科会では、玉島で100年以上続く老舗企業の見学をテーマに実施いたしました。  
はじめに、良寛和尚が修行したお寺として有名な円通寺を観光ガイドの説明を受けながら散策しました。普段は展示されていない涅槃図(ねはんず)も見せてくださり、参加者も興味深く説明を聞いていました。次に、庭園旅館備後屋にて昼食をとった後、玉島で100年以上営業を続けている老舗企業の菊池酒造・玉島味噌醤油・豊島屋の見学を行いました。各企業では、企業の歴史、製品づくりへのこだわり、新商品開発などの話を聞くことができ、参加者の自社企業のビジネスヒントになったのではないかと思います。また、日本酒の試飲や調味料を使った料理の試食やお土産もお渡しし、参加者に変えていただけた分科会になりました。

改善点・反省点

事前準備不足のため、登録者数が大会直前まで増えなかったことと、登録者数に対して当日参加者数が半数近くまで減ったことが反省点でした。



## 部会報告





## 部会報告

### 第4分科会部会(備前)

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 亀川 芳紀(所属単会:備前YEG)

実施場所 青少年教育センター閑谷学校、備前焼窯元備州窯

参加人数 80名

#### 部会長所見 1 登録受付について

登録開始から順調に登録者数が伸び97名まで増えましたが、当初登録期限(1月31日)直前の一週間程度で約半分まで落ち込んでしまいました。しかし、そこから再度近隣YEGへ参加の呼びかけを行い、最終的に登録者数91名まで盛り返すことができました。また、その呼びかけに応じて登録していただいた方々は当日キャンセルもほぼなく、全体でも約9割の実参加率となりました。

仮に登録をしたうえで登録料確定前に不要分をキャンセルするケースがあるのは理解できるのですが、登録後一定期間内に入金がない場合にはキャンセル扱いにするなどの対策があってもよかったと考えます。

#### 2 企画について

平成27年4月に日本遺産に認定された「特別史跡旧閑谷学校」についての講演と見学、旬の牡蠣を使ったお好み焼き(カキオコ)を中心とした昼食や備前焼土ひねり体験と、備前市の誇る観光資源を十分に活用しました。

観光地を巡るだけの単調な内容にならないよう、講演や体験を取り入れたり、見学時にはグループ分けのうえ各々に現地ボランティアガイドによる説明を付け、昼食が落ち着いた時間に地元団体による太鼓演奏を行うなど、参加者を飽きさせることなく備前市の魅力を伝えることに重点を置いて企画内容・スケジュールの決定を行い、参加者にも好評でした。

また、ひだすき作業所製作の備前焼箸置の他、地元を代表する企業のご協力により和菓子(有限会社福井堂)、チオビタドリンク(大鵬薬品工業株式会社)というお土産品の提供による地域PRも行いました。

#### 改善点・反省点

- ・移動時間に多少の遅れが生じた場合であっても、その遅れを後で吸収できるよう余裕を持ったスケジュールとしていました。しかし、朝の集合場所に出発間際に到着される方や、駐車場到着から施設までの間でのトイレ、たばこ休憩などによる遅れが発生してしまいました。遅れが生じるかは事前にはわかりませんが、スケジュール上時間調整を行える項目を増やすとともに、経路全体で立ち寄る可能性のある場所の確認を行っておき、無駄な立ち寄りが生じないようにスムーズに誘導することをもっと意識すべきでした。しかしながら、今回については、現場での行事の順序組み替えなどにより対応することができました。
- ・運営する単会が間に入らず、参加者⇄受入先で現金のやりとりを行ってもらう項目と費用徴収の流れについては受入先との間で事前の確認をよく行っておく必要がありました。
- ・分科会に向け出発するバスの集合場所としては、ママカリフォーラムではなく、もっと広い場所を使える方がよかったと思います。他の分科会の出発時間と近かったため、追い出されるような形になってしまいました。



## 部会報告



## 部会報告

### 第5分科会部会(児島)

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 近藤 愛彦(所属単会:児島YEG)

実施場所 倉敷市児島地区

参加人数 141名

部会長所見 **1 企画について**

わがまち倉敷市児島地区は、瀬戸内海に面した岡山県最南端の児島半島西部に位置し、明治時代から繊維のまちとして知られ、1960年代に国内で最初にジーンズ生産を手掛けたことで有名です。また、日本初の国立公園として知られる瀬戸内海国立公園の代表的な景勝地で鷺が羽を広げた様子に似ていることから鷺羽山と名付けられ、そこから眺める波静かな海上に点在する大小50余りの多島美と雄大な瀬戸大橋の姿は圧巻です。特に夕景の美しさは格別で、「日本の夕陽百選」に選定されています。

1988年の瀬戸大橋開通以降、軒を並べた商店の多くが廃業、移転した結果、シャッター商店街と化し、現在ではアーケードも撤去されてしまいました。しかし、商店街としての機能衰退の歯止めをかけるべく、2009年よりジーンズストリートとして再生させる計画が立ち上がり、徐々に当時の賑わいを取り戻しつつあります。

このような我がまち児島の再生プラン中の様子を見学していただき、大会コンセプトにもあります、CHANCE × CHALLENGE ⇒ CHANGEしていく段階を学び、そして瀬戸内のすばらしい景色も体感していただくことで、児島のすばらしさを全国のYEG会員に発信していくことを目的として企画いたしました。

#### **2 準備について**

全国大会分科会運営会議の近藤議長、曾根副議長、事務局で実行委員会に出席、そして単会内の会議も含めて計20回開催し、皆様の意見、ご指導をいただきながら毎回改善を行い、シミュレーションをしながら準備して参りました。分科会の出席数に不安があったので、担当の3単会様のキャラバン以外にも10府県13都市で児島をPRしてきたことが出席者の増員に繋がったのではないかと考えます。2011年には中国ブロック大会倉敷大会の第3分科会の設営をさせていただいたことも活かし、事前にしっかりと準備ができたのではないかと考えます。そして、当日を想定して何度も同じ工程を繰り返し行い、当日を迎えました。

#### **3 当日の運営について**

当日は天候に恵まれましたので、時間に遅れることなくスケジュール通りに行うことができました。ただ、集合場所が分かりにくく、参加者の方が迷われているのを見受けましたので、大会の登録場所からの誘導員を配置しておけばよかったのではないかと思います。出発してからはガイド役のメンバーのユーモア溢れる説明で参加者の方に



A班50名 集合写真



藍染め体験状況



## 部会報告

も飽きさせない工夫をしたり、紅一点、女性メンバーも同乗し和気藹々とできたと思います。また、県南であるため交通の便が不便でしたが、綿密にシミュレートしていたため、多少の交通事情の変化にもしっかりと対応でき、時間通りの開催となりました。

|       |                                                                                                   |      |        |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|
| 10:00 | 会場内(岡山市内)受付                                                                                       | 20分  | 現地集合不可 |
| 10:20 | 出発(バス内にて趣旨説明等々)                                                                                   | 60分  | 休憩5分含む |
| 11:20 | 昼食(ふゅ〜ちゃ〜) A、B班<br>藍畑 藍染め体験 C班                                                                    | 60分  |        |
| 12:20 | A班25名 藍畑 藍染め体験<br>A班25名 ジーンズストリート散策<br>B班50名 海上クルージング〜鷺羽山展望台見学<br>C班41名 ジーンズストリート散策<br>昼食(ふゅ〜ちゃ〜) | 120分 | 海上は60分 |
| 14:20 | A班50名 海上クルージング〜鷺羽山展望台見学<br>B班25名 藍畑 藍染め体験<br>B班25名 ジーンズストリート散策<br>C班41名 鷺羽山展望台見学〜海上クルージング         | 120分 | 海上は60分 |
| 16:20 | A班 鷺羽山よりバス移動<br>B班 ジーンズストリートよりバス移動<br>C班 ふゅ〜ちゃ〜よりバス移動                                             | 60分  | 休憩5分含む |
| 17:30 | 岡山市内着                                                                                             | 70分  |        |

### 4 最後に

分科会を開催するにあたり、2年前から児島の地で行おうと当時の会長の想いもありましたので、しっかりと時間をかけて企画、準備、設えしてきました。当日は天候に恵まれたこと、メンバーそして地域の絶大なる協力もあったことなどもあり、盛会に実施できたのではないかと考えております。至らない点はあったかと思いますが、全国各地から同じ同志であるYEGメンバーの方々にお越しいただいたことが何よりの財産になったと思います。

吉備の国おかやま大会は終了しましたが、今後のYEG活動に会員一同、一枚岩となり、弊単会ごとではございますが20周年を迎え更なる発展に努めてまいりたいと思います。最後にこの大会を通じて得た絆を大切に、次世代へ繋いでいきたいと思います。



瀬戸内海観光船内より



## 部会報告

### 第6分科会部会(倉敷)

【平成28年2月19日(金)】

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部会長名  | 木田 周作（所属単会:倉敷YEG）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 実施場所  | JFEスチール西日本製鉄所 倉敷美観地区                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 参加人数  | 第6-a分科会39名 第6-b分科会41名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 部会長所見 | <p><b>1 第6-a分科会</b></p> <p>JFEの工場見学ではビジネスに繋がるような工場見学をメインで考えており、JFEと何度も打合せをした結果、本来お話しいただけない日本鋼管と川崎製鉄の統合のメリット・デメリットの講演をしていただき、参加者からも「大変よいお話を聞けた」との声をいただきました。</p> <p><b>2 第6-b分科会</b></p> <p>倉敷を代表する大原家の有隣荘においては、本来、年二回の特別公開しかしていない場所を商工会議所のメンバーのみ特別に公開していただきました。また、本来は大原美術館の学芸員からご案内いただく予定でしたが、商工会議所青年部ということで、館長の大原謙一郎氏が直々に案内をしてくださり、倉敷、大原家の魅力を存分に話していただきました。</p> |

#### 改善点・反省点

急遽の変更などでスタッフとの伝達ミスなどがあり、ご迷惑をおかけしました。もっと連絡を密に取り合えばミスを防げたと実感しています。



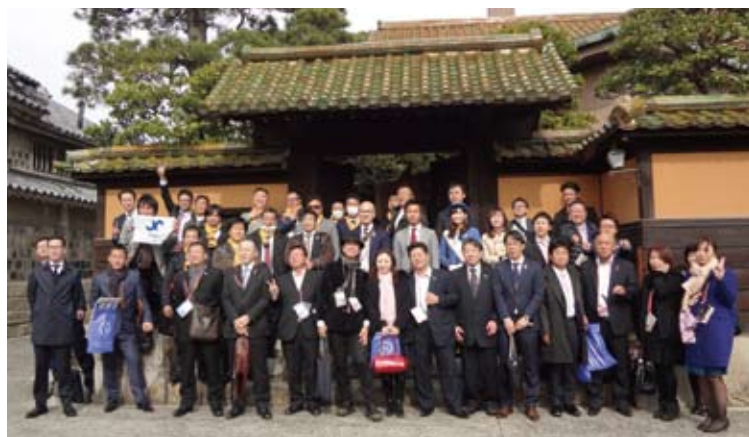
#### 1 第6-a分科会



## 部会報告



2 第6-b分科会



## 部会報告

### 第7分科会部会(井原)

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 細羽 昌彦(所属単会:井原YEG)

実施場所 井原市内各所  
ご協力:日本綿布 株式会社、株式会社 辺本、  
D# the store(井原被服協同組合)

参加人数 41名

#### 部会長所見 1 デニム工場見学・体験

江戸時代初期から厚地綿織物の産地だった井原。明治、大正と時代が移る中、受け継がれてきた技術を活かし、昭和35(1960)年にはデニム・ジーンズ生産が始まり、「国産デニムの聖地」と呼ばれています。この分科会では、デニム生地工場や加工工場での見学を通じて、「国産デニムの聖地」の秘密と、世界に向かって羽ばたき続ける井原の繊維産業の底力をしっかりと実感していただきながら、いかにしてCHANCE × CHALLENGE ⇒ CHANGEしてきたかを学んでいただきました。

近代化産業遺産にも指定された歴史の深い日本綿布株式会社では、めったに見ることのできないデニム工場の様々な工程を見学していただきました。染や織りなどデニム生地ができて上がるまでの一連の流れを学んでいただけたことと思います。

株式会社辺本では、工場見学と、井原産のデニムで作ったエプロンを使って加工体験をしていただきました。皆様に楽しみながら体験していただきました。

井原駅構内にある井原被服協同組合のお店、D# the storeでは、井原デニムについての講習会と、加工体験で使ったエプロンにリベット打ちを行いました。完成したエプロンは記念品として各自お持ち帰りいただきました。

この分科会を通じて、井原がなぜ「国産デニムの聖地」なのかをご理解いただいたと共に、井原なりの生き残り戦略を知ること、企業戦略の一端を学んでいただけたと思います。



#### 2 貸切ローカル列車で吉備路をのんびり列車旅

岡山から井原までの移動を、JR吉備線、井原鉄道線と貸切列車で乗り継ぎながら、列車の旅を楽しんでいただきました。井原鉄道は、元々JR吉備線の延長として計画された路線でしたが、平成11年に第3セクターとして開通にこぎつけました。今回、この分科会開催にあたり、岡山からの初の直通列車を計画しましたが、残念ながら実施には至りませんでした。

井原鉄道線で使用した車両は「夢やすらぎ号」。JR九州ななつ星や九州新幹線を手がけた水戸岡氏によるデザインで、天然木の温かみを活かした暖かい雰囲気の特徴です。

その暖かい雰囲気の中で、往路は地元の名産品・食材を使った特製弁当を食べながら、井原鉄道名物・井原マイレールプラザによるボランティア沿線ガイドで、「吉備の国」の歴史と文化をしっかりと堪能していただきました。

また、復路の車内では、井原と深い関係のあるサッポロビールや地元のお酒を味わいながら、ご参加いただいた皆様方にしっかり交流も深めていただくことができました。

移動の間もしっかり楽しんでいただけたと思います。

#### 改善点・反省点

列車の到着が岡山駅に17:35だったため、18:00開会の大懇親会までに時間の余裕がありませんでした。それに対応するため分科会参加者用の専用バスを用意していましたが、当方の段取り不足でバスへの乗り継ぎに手間取り、参加者の皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。そのため、ご参加いただいた皆様に最後のお礼とご挨拶ができなかったことが残念でなりません。



## 部会報告

日本商工会議所青年部 第35回全国大会 吉備の国おかやま大会

第7分科会  
YEG

貸切ローカル列車で行く  
国産デニムの聖地  
『井原』の  
秘密探訪ツアー

平成28年  
2月19日(金)

開催場所：井原市内各所  
井原商工会議所青年部(事務局)  
TEL: 0866-62-0420

Super Local!  
おかやま大会  
H28.2/18~21

日本商工会議所青年部 第35回全国大会 吉備の国おかやま大会

第7分科会  
YEG

貸切ローカル列車で行く  
国産デニムの聖地『井原』の秘密探訪ツアー

★デニム工場見学・体験  
めったに見ることのないデニム工場内の  
風景や職工様をお楽しみください。

★貸切ローカル列車で  
吉備銘ものじり列車旅

タイムスケジュール

| 時間     | 内容              |
|--------|-----------------|
| 8:30   | 貸切ローカル列車(岡山駅)集合 |
| 9:00   | 岡山駅出発           |
| 9:30   | 新倉敷駅到着          |
| 10:00  | 新倉敷駅出発          |
| 10:30  | 新倉敷駅到着          |
| 11:00  | 新倉敷駅出発          |
| 11:30  | 新倉敷駅到着          |
| 12:00  | 新倉敷駅出発          |
| 12:30  | 新倉敷駅到着          |
| 13:00  | 新倉敷駅出発          |
| 13:30  | 新倉敷駅到着          |
| 14:00  | 新倉敷駅出発          |
| 14:30  | 新倉敷駅到着          |
| 15:00  | 新倉敷駅出発          |
| 15:30  | 新倉敷駅到着          |
| 16:00  | 新倉敷駅出発          |
| 16:30  | 新倉敷駅到着          |
| 17:00  | 新倉敷駅出発          |
| 17:30  | 新倉敷駅到着          |
| 18:00  | 新倉敷駅出発          |
| 18:30  | 新倉敷駅到着          |
| 19:00  | 新倉敷駅出発          |
| 19:30  | 新倉敷駅到着          |
| 20:00  | 新倉敷駅出発          |
| 20:30  | 新倉敷駅到着          |
| 21:00  | 新倉敷駅出発          |
| 21:30  | 新倉敷駅到着          |
| 22:00  | 新倉敷駅出発          |
| 22:30  | 新倉敷駅到着          |
| 23:00  | 新倉敷駅出発          |
| 23:30  | 新倉敷駅到着          |
| 24:00  | 新倉敷駅出発          |
| 24:30  | 新倉敷駅到着          |
| 25:00  | 新倉敷駅出発          |
| 25:30  | 新倉敷駅到着          |
| 26:00  | 新倉敷駅出発          |
| 26:30  | 新倉敷駅到着          |
| 27:00  | 新倉敷駅出発          |
| 27:30  | 新倉敷駅到着          |
| 28:00  | 新倉敷駅出発          |
| 28:30  | 新倉敷駅到着          |
| 29:00  | 新倉敷駅出発          |
| 29:30  | 新倉敷駅到着          |
| 30:00  | 新倉敷駅出発          |
| 30:30  | 新倉敷駅到着          |
| 31:00  | 新倉敷駅出発          |
| 31:30  | 新倉敷駅到着          |
| 32:00  | 新倉敷駅出発          |
| 32:30  | 新倉敷駅到着          |
| 33:00  | 新倉敷駅出発          |
| 33:30  | 新倉敷駅到着          |
| 34:00  | 新倉敷駅出発          |
| 34:30  | 新倉敷駅到着          |
| 35:00  | 新倉敷駅出発          |
| 35:30  | 新倉敷駅到着          |
| 36:00  | 新倉敷駅出発          |
| 36:30  | 新倉敷駅到着          |
| 37:00  | 新倉敷駅出発          |
| 37:30  | 新倉敷駅到着          |
| 38:00  | 新倉敷駅出発          |
| 38:30  | 新倉敷駅到着          |
| 39:00  | 新倉敷駅出発          |
| 39:30  | 新倉敷駅到着          |
| 40:00  | 新倉敷駅出発          |
| 40:30  | 新倉敷駅到着          |
| 41:00  | 新倉敷駅出発          |
| 41:30  | 新倉敷駅到着          |
| 42:00  | 新倉敷駅出発          |
| 42:30  | 新倉敷駅到着          |
| 43:00  | 新倉敷駅出発          |
| 43:30  | 新倉敷駅到着          |
| 44:00  | 新倉敷駅出発          |
| 44:30  | 新倉敷駅到着          |
| 45:00  | 新倉敷駅出発          |
| 45:30  | 新倉敷駅到着          |
| 46:00  | 新倉敷駅出発          |
| 46:30  | 新倉敷駅到着          |
| 47:00  | 新倉敷駅出発          |
| 47:30  | 新倉敷駅到着          |
| 48:00  | 新倉敷駅出発          |
| 48:30  | 新倉敷駅到着          |
| 49:00  | 新倉敷駅出発          |
| 49:30  | 新倉敷駅到着          |
| 50:00  | 新倉敷駅出発          |
| 50:30  | 新倉敷駅到着          |
| 51:00  | 新倉敷駅出発          |
| 51:30  | 新倉敷駅到着          |
| 52:00  | 新倉敷駅出発          |
| 52:30  | 新倉敷駅到着          |
| 53:00  | 新倉敷駅出発          |
| 53:30  | 新倉敷駅到着          |
| 54:00  | 新倉敷駅出発          |
| 54:30  | 新倉敷駅到着          |
| 55:00  | 新倉敷駅出発          |
| 55:30  | 新倉敷駅到着          |
| 56:00  | 新倉敷駅出発          |
| 56:30  | 新倉敷駅到着          |
| 57:00  | 新倉敷駅出発          |
| 57:30  | 新倉敷駅到着          |
| 58:00  | 新倉敷駅出発          |
| 58:30  | 新倉敷駅到着          |
| 59:00  | 新倉敷駅出発          |
| 59:30  | 新倉敷駅到着          |
| 60:00  | 新倉敷駅出発          |
| 60:30  | 新倉敷駅到着          |
| 61:00  | 新倉敷駅出発          |
| 61:30  | 新倉敷駅到着          |
| 62:00  | 新倉敷駅出発          |
| 62:30  | 新倉敷駅到着          |
| 63:00  | 新倉敷駅出発          |
| 63:30  | 新倉敷駅到着          |
| 64:00  | 新倉敷駅出発          |
| 64:30  | 新倉敷駅到着          |
| 65:00  | 新倉敷駅出発          |
| 65:30  | 新倉敷駅到着          |
| 66:00  | 新倉敷駅出発          |
| 66:30  | 新倉敷駅到着          |
| 67:00  | 新倉敷駅出発          |
| 67:30  | 新倉敷駅到着          |
| 68:00  | 新倉敷駅出発          |
| 68:30  | 新倉敷駅到着          |
| 69:00  | 新倉敷駅出発          |
| 69:30  | 新倉敷駅到着          |
| 70:00  | 新倉敷駅出発          |
| 70:30  | 新倉敷駅到着          |
| 71:00  | 新倉敷駅出発          |
| 71:30  | 新倉敷駅到着          |
| 72:00  | 新倉敷駅出発          |
| 72:30  | 新倉敷駅到着          |
| 73:00  | 新倉敷駅出発          |
| 73:30  | 新倉敷駅到着          |
| 74:00  | 新倉敷駅出発          |
| 74:30  | 新倉敷駅到着          |
| 75:00  | 新倉敷駅出発          |
| 75:30  | 新倉敷駅到着          |
| 76:00  | 新倉敷駅出発          |
| 76:30  | 新倉敷駅到着          |
| 77:00  | 新倉敷駅出発          |
| 77:30  | 新倉敷駅到着          |
| 78:00  | 新倉敷駅出発          |
| 78:30  | 新倉敷駅到着          |
| 79:00  | 新倉敷駅出発          |
| 79:30  | 新倉敷駅到着          |
| 80:00  | 新倉敷駅出発          |
| 80:30  | 新倉敷駅到着          |
| 81:00  | 新倉敷駅出発          |
| 81:30  | 新倉敷駅到着          |
| 82:00  | 新倉敷駅出発          |
| 82:30  | 新倉敷駅到着          |
| 83:00  | 新倉敷駅出発          |
| 83:30  | 新倉敷駅到着          |
| 84:00  | 新倉敷駅出発          |
| 84:30  | 新倉敷駅到着          |
| 85:00  | 新倉敷駅出発          |
| 85:30  | 新倉敷駅到着          |
| 86:00  | 新倉敷駅出発          |
| 86:30  | 新倉敷駅到着          |
| 87:00  | 新倉敷駅出発          |
| 87:30  | 新倉敷駅到着          |
| 88:00  | 新倉敷駅出発          |
| 88:30  | 新倉敷駅到着          |
| 89:00  | 新倉敷駅出発          |
| 89:30  | 新倉敷駅到着          |
| 90:00  | 新倉敷駅出発          |
| 90:30  | 新倉敷駅到着          |
| 91:00  | 新倉敷駅出発          |
| 91:30  | 新倉敷駅到着          |
| 92:00  | 新倉敷駅出発          |
| 92:30  | 新倉敷駅到着          |
| 93:00  | 新倉敷駅出発          |
| 93:30  | 新倉敷駅到着          |
| 94:00  | 新倉敷駅出発          |
| 94:30  | 新倉敷駅到着          |
| 95:00  | 新倉敷駅出発          |
| 95:30  | 新倉敷駅到着          |
| 96:00  | 新倉敷駅出発          |
| 96:30  | 新倉敷駅到着          |
| 97:00  | 新倉敷駅出発          |
| 97:30  | 新倉敷駅到着          |
| 98:00  | 新倉敷駅出発          |
| 98:30  | 新倉敷駅到着          |
| 99:00  | 新倉敷駅出発          |
| 99:30  | 新倉敷駅到着          |
| 100:00 | 新倉敷駅出発          |
| 100:30 | 新倉敷駅到着          |



## 部会報告

### 第8分科会部会（総社）

【平成28年2月19日（金）】

部会長名 佐野 秀人（所属単会：総社YEG）

実施場所 サントピア岡山総社

参加人数 53名

部会長所見 「観光で終わるだけではなく、参加者同士が気軽に交流できる分科会」をテーマに取り組んでまいりました。ご参加いただいた方にも概ね趣旨をご理解いただき、テーブルごとの交流も盛んに行われていたように思います。昼食にはすべての食材に赤米とカルピスを使用した、この分科会のために考案した「カルピス・赤米レシピ」をご賞味いただきました。

食を通しての総社市の魅力、また講演から総社YEGの歴史・取り組みなどもお伝えできたのではないのでしょうか。ご参加いただいた皆様に総社YEGのこの分科会が記憶に残れば幸いです。

#### 開催スケジュール

- 10:30～ ママカリフォーラムにて受付開始  
(ウェルカムドリンク「カルピスサワー」「カルピスウォーター」をご用意)
- 11:00 サントピア岡山総社へバス2台で出発(参加者53名)  
車内で参加者同士の簡単な自己紹介  
総社YEGの女性メンバーが車窓から吉備津神社、最上稲荷、  
桃太郎伝説のルーツ、鬼ノ城などをガイド
- 12:10 サントピア岡山総社到着
- 12:20～ テーマ:「総社の恵まれた水源がもたらす「赤米とカルピス」～古代から現代までつながる食文化～」  
講 師:カルピス株式会社岡山工場 鶴田 壘様  
レッドライスカンパニー株式会社 難波 尚吾君(総社YEG)  
カルピス岡山工場の取り組みとご当地カクテル「ピーチSOJA」ができた経緯  
また総社YEGが創成期から取り組んできた古代米「赤米」を用いた6次産業に取り組んでいる  
総社YEGメンバーの取り組みなどを講演
- 13:30 昼食 第8分科会特別メニュー「カルピス・赤米レシピ」  
ビュッフェ形式の全15品目のメニューすべてに赤米またはカルピスを使用した料理をご堪能
- 14:15 アトラクション「テーブル対抗ご当地クイズ」全10問で正答数の多い2テーブルに賞品をご用意  
(1位 カルピスバター、2位 岡山七穀(雑穀米))
- 14:50 交流会終了(お土産:カルピスピースボトル、赤米餅)
- 15:00 ジップアリーナへ向けて出発  
カルピス岡山工場を通り、県下唯一の五重塔のある備中国分寺で散策(約40分)
- 16:40 ジップアリーナ到着 分科会終了



## 部会報告

### 改善点・反省点

- ・分科会の内容についてもう少し早い段階で決定をし、分科会の魅力をチラシ・FacebookなどでPRを行ってれば、もう少し登録者を増やすことができたように思います。
- ・料理の数量が多すぎました。ディナーにもできそうなメニューであったため、夜に大懇親会を控えた昼食ということをもう少し考慮すべきでした。
- ・当日複数名からカルピス岡山工場を見学したいという声も聞かれましたが、スケジュール的には難しく今回は実施できませんでした。





## 部会報告

### 第9分科会部会（新見）

【平成28年2月19日（金）】

部会長名 橋本 尚典（所属単会：新見YEG）

実施場所 哲多食源の里祥華、備北粉化工業株式会社 唐櫃鉱山

参加人数 67名

#### 部会長所見 1 昼食について

昼食では、新見の特産品である千屋牛、TETTAワイン、キャビアをご堪能いただきました。アンケート結果でも参加したほとんどのメンバーによかったという評価をいただくことができ、新見市の誇るA級グルメをアピールすることができました。

#### 2 坑道見学について

坑道見学では、備北粉化工業株式会社の方へガイドをお願いし、坑道内を見学いたしました。坑道内は小型バス2台に分かれて、車窓より石灰の採掘機械や採掘状況、石灰岩をくり抜いてできた岩の壁や天井を見学していただきました。

車窓からだけでなく、車外での見学も検討していましたが、服が汚れてしまうことや乗り降りの際の時間のロスを考慮し断念しました。運営がスムーズにできたこともあり、結果として時間が余ったため、検討段階で坑道内の時間配分をもう少し詰めておく必要がありました。

#### 3 分科会総括

新見の分科会では、移動距離による時間の制約と知名度の低さが課題でした。開催するにあたりインパクトに残る分科会にするために、「A級グルメ」「石灰産業」の2点に焦点を絞り計画をいたしました。新見への滞在時間が短くなってしまい慌ただしい行程になってしまったのですが、参加者へ満足していただける分科会とすることができました。

移動のバスにおいても、ガイド担当で打合せを重ね資料作成をしていたので、スムーズな案内で、長距離の移動でも退屈をせずに過ごしていただくことができたと思います。

設営についても、多くの新見YEGメンバーの協力もあり、スムーズな運営を行うことができました。

#### 改善点・反省点

最初の坑道見学がスムーズに行き過ぎて、バスの入れ替わりの時間まで待たせることになってしまいました。坑道内で見学時間の調整ができるよう、時間調整するポイントを何点か考え準備するべきでした。



## 部会報告



## 部会報告

### 第10分科会部会(高梁)

【平成28年2月19日(金)】

部会長名 中村 宏史(所属単会:高梁YEG)

実施場所 備中松山城、頼久寺他

参加人数 一般70名、早朝オプション17名

部会長所見 **1 早朝オプションコース「備中松山城雲海展望台見学→山田方谷史跡巡り」**

ただいま注目をいただいている備中松山城の雲海を見学するというコースでした。早朝ということもあり、定員が満たされるか心配でありましたが、最終的には定員20名のところ17名登録ということで、正直、安堵感とともに、企画してよかったなと思いました。当日は、残念ながら、雲海はうっすらとしか発生しませんでした、はっきりと見えた天空の山城・備中松山城の雄姿に、参加者はご満足いただけたと思います。

また、その後の「山田方谷史跡巡り」においては、参加者が10名ほど抜けたため、少人数での実施となりましたが、その分手厚いおもてなし、気配りなどができたものと思います。

**2 一般コース「天空の山城列車」**

80名定員のところ、最終的には70名の登録、開催前までに10名のキャンセル、当日に同じく10名ほどのキャンセル(連絡なし含む)で、実際の参加者は50名程度でした。朝一の遅刻の連絡、不参加の連絡、連絡なしの不参加などで、岡山駅での受付はかなり混乱しましたが、なんとか列車は出発しました。道中のガイド案内、紅茶サービス、甲冑もてなしなどはかなり好評をいただけたと思っています。

**3 合流しての「頼久寺庭園見学(茶席体験)」**

**4 昼食(備中神楽鑑賞付きの備中高梁グルメ定食)**

**5 備中松山城登城**

キャンセル、途中抜けなどにより、人数が減少したため、かえて移動・設営などもスムーズに行うことができました。

#### 改善点・反省点

このたび、単会メンバー・女性会・親会・協力団体など総勢50名近いスタッフで、各種趣向を凝らしたもてなしで対応させていただき、おおむね好評・ご満足をいただけたものと思っています。4月からの大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」を控え、ご当地の観光を盛り上げるという気運の醸成、連携の重要性なども認識でき、全国の参加者の皆様に、高梁の魅力を大いに発信できたものと思っています。単会メンバーの団結もあらためて確認でき、非常に貴重な機会となりました。

服装などあらかじめ単会事務局へご連絡していたことが、参加者まで届いていなかったのが、残念でした。





## 部会報告



## 登録者数一覧

### 北海道ブロック

|     |      |    |
|-----|------|----|
| 北海道 | 北海道連 | 1  |
|     | 函館   | 0  |
|     | 小樽   | 5  |
|     | 釧路   | 11 |
|     | 帯広   | 24 |
|     | 北見   | 4  |
|     | 岩見沢  | 64 |
|     | 留萌   | 3  |
|     | 網走   | 3  |
|     | 根室   | 8  |
|     | 滝川   | 3  |
|     | 美唄   | 7  |
|     | 砂川   | 4  |
|     | 紋別   | 2  |
|     | 森    | 0  |
|     | 名寄   | 9  |
|     | 遠軽   | 0  |
|     | 美幌   | 0  |
|     | 赤平   | 0  |
|     | 浦河   | 1  |
|     | 上砂川  | 2  |
|     | 登別   | 3  |
|     | 恵庭   | 8  |
|     | 石狩   | 3  |

### 東北ブロック

|     |      |    |
|-----|------|----|
| 青森県 | 青森   | 7  |
|     | 弘前   | 14 |
|     | 八戸   | 10 |
|     | 十和田  | 3  |
|     | 黒石   | 6  |
| 岩手県 | 五所川原 | 13 |
|     | むつ   | 4  |
|     | 盛岡   | 14 |
|     | 釜石   | 1  |
|     | 一関   | 7  |
| 宮城県 | 宮古   | 4  |
|     | 花巻   | 3  |
|     | 奥州   | 1  |
|     | 北上   | 6  |
|     | 大船渡  | 6  |
| 秋田県 | 久慈   | 8  |
|     | 仙台   | 39 |
|     | 塩釜   | 7  |
|     | 石巻   | 9  |
|     | 気仙沼  | 5  |
| 秋田県 | 古川   | 3  |
|     | 白石   | 0  |
|     | 秋田   | 22 |
|     | 能代   | 2  |
|     | 大館   | 1  |
| 秋田県 | 湯沢   | 1  |
|     | 横手   | 9  |
|     | 大曲   | 5  |
|     | 大曲   | 5  |
|     | 大曲   | 5  |

### 関東ブロック

|     |       |    |
|-----|-------|----|
| 茨城県 | 水戸    | 28 |
|     | 土浦    | 19 |
|     | 古河    | 20 |
|     | 日立    | 7  |
|     | 石岡    | 10 |
|     | 下館    | 4  |
|     | 結城    | 6  |
|     | ひたちなか | 7  |
| 栃木県 | 栃木    | 9  |
|     | 宇都宮   | 29 |
|     | 足利    | 3  |
|     | 鹿沼    | 2  |
|     | 小山    | 17 |
|     | 日光    | 19 |
|     | 大田原   | 0  |
|     | 佐野    | 1  |
| 群馬県 | 真岡    | 3  |
|     | 前橋    | 32 |
|     | 桐生    | 2  |
|     | 館林    | 3  |
|     | 伊勢崎   | 22 |
|     | 太田    | 7  |
|     | 沼田    | 11 |
|     | 富岡    | 4  |
| 埼玉県 | 茨川    | 4  |
|     | 茨城    | 4  |
|     | 藤岡    | 6  |
|     | 川口    | 13 |
|     | 熊谷    | 3  |
|     | さいたま  | 51 |
|     | 秩父    | 5  |
|     | 行田    | 15 |
| 千葉県 | 本庄    | 5  |
|     | 深谷    | 12 |
|     | 所沢    | 20 |
|     | 蕨     | 7  |
|     | 上尾    | 22 |
|     | 狭山    | 3  |
|     | 草加    | 3  |
|     | 春日部   | 6  |
| 東京都 | 銚子    | 0  |
|     | 千葉    | 23 |
|     | 船橋    | 9  |
|     | 木更津   | 7  |
|     | 市川    | 4  |
|     | 松戸    | 25 |
|     | 佐原    | 2  |
|     | 茂原    | 11 |
| 東京都 | 野田    | 10 |
|     | 館山    | 0  |
|     | 八街    | 0  |
|     | 東金    | 3  |
|     | 柏     | 32 |
|     | 習志野   | 6  |
|     | 成田    | 15 |
|     | 佐倉    | 13 |
| 東京都 | 八千代   | 24 |
|     | 流山    | 9  |
|     | 流山    | 9  |
|     | 流山    | 9  |
|     | 流山    | 9  |
|     | 流山    | 9  |
|     | 流山    | 9  |
|     | 流山    | 9  |

|      |      |     |
|------|------|-----|
| 神奈川県 | 横須賀  | 17  |
|      | 小田原  | 26  |
|      | 箱根   | 26  |
|      | 平塚   | 20  |
|      | 藤沢   | 18  |
|      | 茅ヶ崎  | 15  |
|      | 厚木   | 2   |
|      | 秦野   | 14  |
| 山梨県  | 鎌倉   | 4   |
|      | 三浦   | 4   |
|      | 相模原  | 15  |
|      | 大和   | 8   |
|      | 海老名  | 4   |
|      | 富士吉田 | 7   |
|      | 富士吉田 | 7   |
|      | 富士吉田 | 7   |
| 静岡県  | 静岡   | 40  |
|      | 浜松   | 106 |
|      | 沼津   | 39  |
|      | 三島   | 36  |
|      | 富士宮  | 17  |
|      | 富士   | 32  |
|      | 伊東   | 13  |
|      | 島田   | 9   |
| 愛知県  | 焼津   | 5   |
|      | 掛川   | 27  |
|      | 藤枝   | 22  |
|      | 袋井   | 8   |
|      | 高山   | 22  |
|      | 関    | 21  |
|      | 恵那   | 20  |
|      | 各務原  | 30  |
| 岐阜県  | 美濃   | 9   |
|      | 加茂   | 9   |
|      | 可児   | 6   |
|      | 岡崎   | 41  |
|      | 豊橋   | 22  |
|      | 半田   | 24  |
|      | 一宮   | 11  |
|      | 瀬戸   | 4   |
| 愛知県  | 蒲郡   | 14  |
|      | 豊川   | 4   |
|      | 刈谷   | 22  |
|      | 豊田   | 31  |
|      | 安城   | 10  |
|      | 西尾   | 12  |
|      | 津島   | 0   |
|      | 春日井  | 6   |
| 愛知県  | 稲沢   | 0   |
|      | 常滑   | 8   |
|      | 江南   | 8   |
|      | 小牧   | 2   |
|      | 犬山   | 4   |
|      | 東海   | 15  |
|      | 大府   | 2   |
|      | 大府   | 2   |

|     |     |    |
|-----|-----|----|
| 三重県 | 四日市 | 8  |
|     | 津   | 19 |
|     | 伊勢  | 13 |
|     | 松阪  | 15 |
|     | 鈴鹿  | 7  |
|     | 桑名  | 6  |
|     | 上野  | 23 |
|     | 亀山  | 7  |
| 三重県 | 尾鷲  | 0  |
|     | 名張  | 6  |
|     | 鳥羽  | 5  |
|     | 熊野  | 0  |
|     | 熊野  | 0  |
|     | 熊野  | 0  |
|     | 熊野  | 0  |
|     | 熊野  | 0  |

### 近畿ブロック

|     |     |    |
|-----|-----|----|
| 福井県 | 福井  | 26 |
|     | 敦賀  | 8  |
|     | 武生  | 8  |
|     | 大野  | 9  |
|     | 勝山  | 2  |
|     | 小浜  | 11 |
|     | 鯖江  | 31 |
|     | 鯖江  | 31 |
| 滋賀県 | 大津  | 19 |
|     | 長浜  | 20 |
|     | 彦根  | 11 |
|     | 日市  | 11 |
|     | 草津  | 16 |
|     | 守山  | 12 |
|     | 守山  | 12 |
|     | 守山  | 12 |
| 京都府 | 京都  | 79 |
|     | 舞鶴  | 3  |
|     | 福知山 | 7  |
|     | 綾部  | 15 |
|     | 宇治  | 17 |
|     | 宮津  | 10 |
|     | 亀岡  | 10 |
|     | 城陽  | 12 |
| 大阪府 | 泉大津 | 8  |
|     | 高槻  | 0  |
|     | 岸和田 | 7  |
|     | 貝塚  | 2  |
|     | 吹田  | 26 |
|     | 八尾  | 31 |
|     | 泉佐野 | 13 |
|     | 北大阪 | 41 |
| 大阪府 | 守口  | 19 |
|     | 門真  | 19 |
|     | 高石  | 16 |
|     | 箕面  | 17 |
|     | 和泉  | 8  |
|     | 大東  | 11 |
|     | 大東  | 11 |
|     | 大東  | 11 |

## 登録者数一覧

|     |     |    |
|-----|-----|----|
| 兵庫県 | 明石  | 6  |
|     | 相生  | 6  |
|     | 赤穂  | 4  |
|     | 三木  | 6  |
|     | 洲本  | 8  |
|     | 豊岡  | 8  |
|     | 高砂  | 10 |
|     | 龍野  | 7  |
|     | 加古川 | 48 |
| 奈良県 | 小野  | 0  |
|     | 加西  | 13 |

|      |      |    |
|------|------|----|
| 奈良県  | 奈良   | 37 |
|      | 大和高田 | 12 |
|      | 生駒   | 9  |
| 和歌山県 | 橿原   | 6  |
|      | 和歌山  | 34 |
|      | 海南   | 3  |
|      | 田辺   | 0  |
| 和歌山県 | 新宮   | 0  |
|      | 御坊   | 1  |
|      | 紀州有田 | 1  |

## 中国ブロック

|     |    |    |
|-----|----|----|
| 鳥取県 | 鳥取 | 92 |
|     | 米子 | 26 |
|     | 倉吉 | 10 |

|     |    |    |
|-----|----|----|
| 島根県 | 松江 | 29 |
|     | 浜田 | 12 |
|     | 出雲 | 36 |
|     | 平田 | 5  |
|     | 益田 | 15 |
|     | 大田 | 5  |
|     | 安来 | 57 |
|     | 江津 | 4  |

|     |    |     |
|-----|----|-----|
| 岡山県 | 岡山 | 355 |
|     | 倉敷 | 171 |
|     | 津山 | 131 |
|     | 玉島 | 59  |
|     | 玉野 | 63  |
|     | 児島 | 74  |
|     | 笠岡 | 64  |
|     | 井原 | 87  |
|     | 備前 | 41  |
| 広島県 | 備前 | 41  |
|     | 高梁 | 47  |
|     | 総社 | 61  |
|     | 新見 | 58  |

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 広島県 | 広島  | 101 |
|     | 福山  | 52  |
|     | 府中  | 4   |
|     | 三次  | 12  |
|     | 大竹  | 3   |
|     | 竹原  | 10  |
|     | 東広島 | 21  |
| 山口県 | 廿日市 | 19  |
|     | 下関  | 16  |
|     | 宇部  | 5   |

|     |     |    |
|-----|-----|----|
| 山口県 | 山口  | 28 |
|     | 防府  | 16 |
|     | 徳山  | 6  |
|     | 下松  | 3  |
|     | 萩   | 4  |
|     | 岩国  | 26 |
|     | 山陽  | 9  |
|     | 長門  | 13 |
|     | 光   | 1  |
| 山口県 | 小野田 | 0  |
|     | 柳井  | 9  |
|     | 新南陽 | 2  |

## 四国ブロック

|     |      |    |
|-----|------|----|
| 徳島県 | 徳島   | 50 |
|     | 鳴門   | 11 |
|     | 小松島  | 2  |
|     | 吉野川  | 5  |
|     | 阿波池田 | 1  |
|     | 阿南   | 13 |

|     |     |    |
|-----|-----|----|
| 香川県 | 高松  | 21 |
|     | 丸亀  | 28 |
|     | 坂出  | 16 |
|     | 観音寺 | 13 |
|     | 多度津 | 21 |
|     | 善通寺 | 8  |

|     |      |    |
|-----|------|----|
| 愛媛県 | 松山   | 74 |
|     | 宇和島  | 8  |
|     | 今治   | 67 |
|     | 八幡浜  | 7  |
|     | 新居浜  | 10 |
|     | 四国中央 | 24 |
|     | 西条   | 15 |
|     | 伊予   | 20 |
|     | 大洲   | 10 |

|     |    |    |
|-----|----|----|
| 高知県 | 高知 | 35 |
|     | 中村 | 7  |
|     | 安芸 | 4  |
|     | 須崎 | 11 |
|     | 宿毛 | 4  |

## 九州ブロック

|     |      |    |
|-----|------|----|
| 福岡県 | 久留米  | 20 |
|     | 大牟田  | 5  |
|     | 八女   | 7  |
|     | 田川   | 5  |
|     | 柳川   | 5  |
|     | 豊前   | 6  |
|     | 行橋   | 0  |
|     | 苅田   | 15 |
|     | 大川   | 7  |
|     | 豊前川崎 | 3  |
|     | 筑後   | 3  |
|     | 宮若   | 3  |
| 佐賀県 | 朝倉   | 15 |
|     | 佐賀   | 5  |
|     | 唐津   | 3  |

|     |     |   |
|-----|-----|---|
| 佐賀県 | 伊万里 | 6 |
|     | 鳥栖  | 8 |
|     | 小城  | 2 |
|     | 小島  | 4 |

|     |     |    |
|-----|-----|----|
| 長崎県 | 長崎  | 20 |
|     | 佐世保 | 13 |
|     | 島原  | 10 |
|     | 諫早  | 8  |
|     | 大村  | 5  |
|     | 福江  | 7  |
|     | 平戸  | 8  |
|     | 松浦  | 7  |

|     |    |    |
|-----|----|----|
| 熊本県 | 熊本 | 8  |
|     | 荒尾 | 12 |
|     | 人吉 | 10 |
|     | 水俣 | 10 |
|     | 玉名 | 6  |
|     | 山鹿 | 9  |

|     |      |    |
|-----|------|----|
| 大分県 | 別府   | 14 |
|     | 大分   | 23 |
|     | 中津   | 14 |
|     | 日田   | 5  |
|     | 佐伯   | 7  |
|     | 臼杵   | 3  |
|     | 津久見  | 3  |
|     | 豊後高田 | 4  |
|     | 竹田   | 3  |
| 宮崎県 | 宇佐   | 1  |

|      |    |    |
|------|----|----|
| 宮崎県  | 都城 | 10 |
|      | 宮崎 | 30 |
|      | 日向 | 3  |
|      | 高鍋 | 12 |
|      | 日南 | 4  |
|      | 小林 | 2  |
|      | 小串 | 3  |
| 鹿児島県 | 西都 | 3  |

|      |        |    |
|------|--------|----|
| 鹿児島県 | 鹿児島    | 5  |
|      | 川内     | 3  |
|      | 鹿屋     | 0  |
|      | 枕崎     | 3  |
|      | 奄美大島   | 2  |
|      | 南さつま   | 0  |
|      | 出水     | 13 |
|      | 指宿     | 2  |
|      | いちき串木野 | 3  |
| 沖縄県  | 霧島     | 2  |

|     |     |    |
|-----|-----|----|
| 沖縄県 | 那覇  | 43 |
|     | 沖縄  | 9  |
|     | 宮古島 | 4  |
|     | 浦添  | 12 |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 日本 |  | 7 |
|----|--|---|

|    |  |       |
|----|--|-------|
| 合計 |  | 5,974 |
|----|--|-------|



全国YEGの皆様、  
たいへん多くの方のご登録、  
誠にありがとうございました。





## 大会PRグッズ

### 記念誌



岡山県・岡山商工会議所青年部 第35回全国大会 記念誌 吉備の国 おかやま大会 (2016.2/18-20)

### チラシ



### 名 刺



### 封筒



### 岡山ナイトマップ



## 大会PRグッズ

## 大会登録証



## 分科会仮登録証



## 卒業会員登録証



## OBサロン登録証



## 大会登録証 中面



## 倉敷ナイトマップ





## 大会PRグッズ

### 横断幕



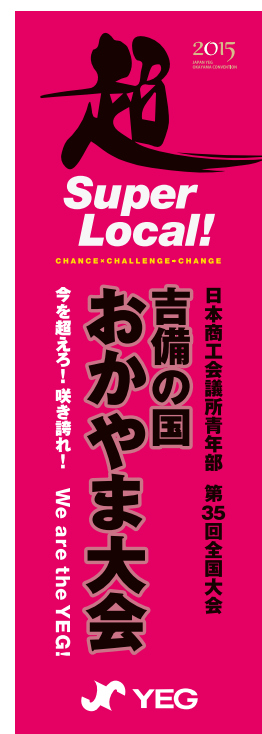
### バッジ



### はっぴ



### のぼり



### ブルゾン



### トートバッグピスネーム

